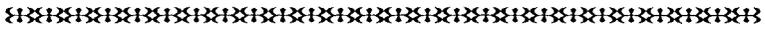


覚えよう！ みんなの  
早稲田式速記

《 基本編 》



# テキストについて

## 【テキストの構成】

### 1. 単音について

学習する行の初めに単音（ア・イ・ウ・エ・オ等）のほか、ア列とエ列の二音字（アイ・エイ等）も掲載しました。

### 2. 「例題」について

例題にある速記文字は、一般的な書き方、「少し高度なテクニック」の書き方で書いています。

### 3. 「ポイント」と「少し高度なテクニック」について

「ポイント」には書くときの要領を、「少し高度なテクニック」にはより早く、よりきれいに書く要領を掲載しました。

練習するとき、「少し高度なテクニック」は参考程度にとらえて結構ですが、「ポイント」はしっかり押さえてください。

### 4. 「練習例題」について

速記文字を見ないで練習できるように、単語だけを並べました。速記文字は、本書の最後に掲載しています。

## 【符号の説明】

### 1. ★について

「ポイント」において、守らなければならない項目に★★★、できるだけ守ってほしい項目に★★、できれば守ってもらいたい項目に★を入れました。1つの目安にしてください。

## 2. 「→」について

矢印は、速記文字を書く方向、また注意すべき箇所を示しています。

## 3. 「ハ」について

速記文字の最後の方につけている「ハ」は、はじくという意味を示しています。これは説明書きで、速記文字・速記符号ではありませんので、実際には書きません。

## 4. 「……」について

「……」は、前後の速記文字を略して示しています。

### 【その他】

#### 1. 速記文字について

一概に早稲田式と言っても、指導する機関、指導する人により、少しずつ速記文字が違いますので、ご了承ください。

#### 2. 基本編に掲載する速記文字について

本書では、清音・撥音・詰音・濁音・長音・長濁音・拗音・半濁音・半濁拗音のほか、ア列・エ列の二音文字、アー・イー・ウー・エー・オーの長母音、重音・数詞も掲載しました。

速記の生い立ち .....	5
学習をする前に .....	7
本書で学ぶ速記文字一覧 .....	9
速記文字の構成 .....	1 3
速記文字の原則 .....	1 5
清音ア行 .....	1 6
清音カ行 .....	1 8
清音サ行 .....	2 0
清音タ行 .....	2 2
清音ナ行 .....	2 5
清音ハ行 .....	2 8
清音マ行 .....	3 1
清音ヤ行 .....	3 4
清音ラ行 .....	3 7
清音ワ行 .....	4 0
清音サ行（変規） .....	4 3
清音タ行（変規） .....	4 5
まとめ .....	4 8
撥音 .....	5 2
詰音 .....	5 7
濁音・長音・長濁音 .....	6 0
拗音カ行 .....	6 6
拗音サ行 .....	6 9
拗音タ行 .....	7 2
拗音ナ行 .....	7 6
拗音ハ行 .....	7 9

拗音マ行 .....	8 1
拗音ラ行 .....	8 3
半濁音 .....	8 6
半濁拗音 .....	8 8
重音 .....	9 0
数字 .....	9 4
文章練習をする前に .....	9 9
速記文字文例 .....	1 0 1
練習例題の回答 .....	1 1 0

## 速記の生い立ち

「速記」とは、簡単に言えば、「人の発言や自分の考え・メモなどを、速記文字を使って、迅速、正確に記録すること」です。

さて、その速記の歴史ですが、かなり古く、紀元前63年（古代ローマ時代）にさかのぼります。キケロという政治家の演説をティロという速記者が書き取ったのは有名です。その当時の速記というのは、アルファベットを工夫したものだったようです。

さらにそれより以前にも速記が存在しており、紀元前400年（古代ギリシャ時代）にアリストテレスに捧げた速記文字の碑文が見つっていますが、ティロのように知られていません。

現在のような線で示す速記法は、1837年、イギリスのアイザック・ピットマンという人が発表されたピットマン式から始まります。そして1888年、カナダのジョン・ロバート・グレッグがグレッグ式を発表し、全世界の速記をかえていきます。

日本ではどうでしょうか。1882年（明治15年）、田鎖綱紀(タサノツネ) という人がピットマン式系統のアメリカのグラハム式を学び、日本語の速記体系を考案しました。そして、速記体系が未完成ながらも、同年9月19日付の「時事新報」（福沢諭吉創刊）に「日本傍聴記録法」と名づけて発表し、10月28日、東京において第1回の講習会を開くこととなります。その後、弟子たちの手によって速記文字が改良され、さまざまな方式を生んでいきます。

参考までに、日本では、これを記念して10月28日は「速記の日」となっています。

なお、それ以前にも日本語の速記を考案した人はいたようですが、実務者を出さなかったことから余り知られていません。

それではこれから学習する早稲田式ですが、早稲田式は、1930年（昭和5年）、川口渉(カガフヲル) という人が早稲田大学時代に学内の速記研究会において考案・発表

しました。

川口渉は、当時発表されていたさまざまな速記方式の長所を取り、短所を切り捨て、①大衆の速記文字、②理論によって系統づけられた速記文字、③芸術的な速記文字、④即座に文字化できる超高度な速記文字、等を柱として研究し、完成させたのです。

この早稲田式は、折衷派(セツシュウ)と言って、円のついていない単線の文字(単画派)と円のついている複線の文字(複画派)の構成で出来上がっています。初心者には最初ちょっと難しいとも思える複線がシャープをスムーズに走らせ、迅速に書き取れるようになっていますし、またそうして描かれた速記文字はきれいな流線となっています。

ぜひ本書によって早稲田式速記を自分のものとされ、日常生活におけるあらゆる場で使用し、有意義な毎日を送られることを祈念します。

## 学習をする前に

### 1. 準備するもの

速記の学習は、原文帳とシャープさえあればできます。

原文帳とは、速記文字を書く用紙のことです。

原文帳のつくり方は、書道半紙を半分に切ってその束を横長に置き、下には厚紙を敷いて、その左上をクリップでとめると簡単に出来上がります。

なお、速記文字は横に書いていきますが、余り詰めて書かないように、また上下左右、特に右・下部分は余白をつくるように心がけましょう。また、練習では、書道半紙がもったいないので、裏側も使いましょう。

シャープは、0.9ミリの2Bなど、太くて濃い芯が使いやすいでしょう。

### 2. 練習する前に

ウォーミングアップとして、手首を柔らかくするため、手振り運動をしましょう。

また、線の感覚をつかむため、渦巻き線を書いてみましょう。方法は、原文帳いっぱいの大きな真ん丸い円から、シャープをとめずに中心に向かってだんだん小さく書いていき、中心まで来ると、今度はそこから外側に向かって大きな円を書いていく方法です。円はできるだけ密に書きましょう。

また、真ん丸い円を、原文帳の左端からシャープをとめずに少しずつずらして右端まで書いていく方法もあります。速記文字には3種類の長さ（約5センチ・10センチ・20センチ）ありますので、それらの大ききで書きましょう。また、この円も密に書きましょう。

### 3. 練習の仕方

まず、「ポイント」をよく読み、ゆっくり、丁寧に書く練習をしましょう。

速記文字の構成には長さ・曲直・角度・方向・大小円があり、それらが狂うと別の速記文字になることもありますので、書く前にまずテキストの速記文字をよく見ましょう。速記文字を書いた後は、正しく書けているか、テキストの速記文字を見て確認

しておきましょう。

また速記文字を書くばかりでなく、速記文字を読む練習も平行して行いましょう。テキストにある速記文字の上の普通文字を隠すことによって速記文字を読むことができます。

「少し高度なテクニック」をのみ込むことができれば、その要領も覚えるとよいでしょう。難しく感じる人は無視してもかまいません。

「練習問題」の単語も書いてみましょう。書いた後は、本書の最後に回答を掲載していますので、確認しておきましょう。

#### 4. 練習の時間

できるだけ毎日、10分、20分でも結構ですから学習する時間をとりましょう。技術を身につけるには、毎日の積み重ねが大切です。机に向かうことができない人も、時間があいたときなど、頭で考えたり、空間に書いたりして練習することができます。

なお、私のホームページ「速記学習者、このページ集まれ！」(<http://sokki.okoshi-yasu.net/index.html>)にも学習者に参考になる記事を満載していますので、参考にしていただければ幸いです。

# 本書で学ぶ速記文字一覧

## 《 清音速記文字一覧 》

ア	イ	ウ	エ	オ	アイ	エイ
㇏	㇏		\	/	○	㇏

カ	キ	ク	ケ	コ	カイ	ケイ
—	㇏	㇏	㇏	—	—	㇏

サ	シ	ス	セ	ソ	サイ	セイ
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏	㇏	㇏

[変規] サ      シ      ス      セ      ソ

㇏	㇏	㇏	㇏	㇏
---	---	---	---	---

タ	チ	ツ	テ	ト	タイ	テイ
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏		㇏

[変規] タ      チ      テ      ト

㇏	㇏	㇏	㇏
---	---	---	---

ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ナイ	ネイ
						
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ハイ	ヘイ
						
マ	ミ	ム	メ	モ	マイ	メイ
						
ヤ		ユ		ヨ	ヤイ	
						
ラ	リ	ル	レ	ロ	ライ	レイ
						
ワ	イ(ヰ)				ワイ	
						

《 長母音速記文字一覧 》

アー	イー	ウー	エー	オー
				

《 拗音・半濁音・半濁拗音速記文字一覧 》

キャ

キュ

キョ

シャ

シュ

シェ

シヨ

〔変規〕シヨ

チャ

チュ

チェ

チヨ

ニャ

ニュ

ニョ

ヒャ

ヒュ

ヒョ

ミャ

ミュ

ミョ

リャ

リュ

リョ

パ

ピ

プ

ペ

ポ

パイ

ペイ

ピャ

ピュ

ピョ

## 速記文字の構成

### 1. 長さ

速記文字の線の長さには、標準線、短線、長線という3種類があります。

5ミリ・10ミリ・20ミリという長さより、標準線を基準にして、短線はその半分より短目、長線は倍より長目という感覚で書きましょう。

カイ



短線 (5mm程度)

カ



標準線 (10mm程度)

コ



長線 (20mm程度)

### 2. 直線と曲線

速記文字の線には、直線と曲線があります。

カ



ナ



曲線の中でもサイ・セイ・ナイ・マイ・ワ・キは、半円形となります。

サイ



キ



### 3. 角度と方向

速記文字には、角度と方向があります。

角度というのは0度(水平)、45度、90度(垂直)を指し、方向というのは右上斜め、右、右下斜め、下、左下斜めを指します。

なお、斜めの角度は45度ですが、前後の速記文字によって微妙に角度が変わってくる場合があります。

カ



水平

サ



右上45度

タ



左下45度

ハ



右下45度

ウ



垂直

#### 4. 小円と大円

速記文字の円には、小円と大円があります。

円の目安は、小円は1ミリ程度、大円は5ミリ程度となります。

キ



小円

ク



大円

#### 5. 速記文字は、音(わ)を表す表音文字(ヒョウオンモジ) です。

ですから、例えば、「…を」は、速記文字では「…オ」

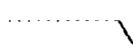
「…へ」は、速記文字では「…エ」となります。

なお、「…は」は、「…わ」と書いても結構ですが、一般的にはハのはじいた形で書きます。

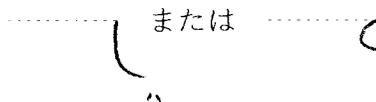
…を



…へ



…は



# 速記文字の原則

## 1. 速記文字の原則

9ページの「清音速記文字一覧」を見るとわかるように、速記文字には以下のような原則というのがあります。

イ列＝ア列＋小円

(例) カ                  キ

—                      ㇀

ウ列＝ア列＋大円

(例) カ                  ク

—                      ㇁

エ列＝イ列×2

(例) キ                  ケ

㇀                      ㇂

オ列＝ア列×2

(例) カ                  コ

—                      ㇃

ア列二音字＝ア列÷2

(例) カ                  カイ

—                      ㇄

エ列二音字＝イ列÷2

(例) ケ                  ケイ

㇀                      ㇅

例外は、ア行とツ・ユです。

また、夕行のタ・チとテ・トは、方向が逆になります。

ツ

㇆

ユ

㇇

清　音　ア　行

ア	イ	ウ	エ	オ	アイ	エイ
						
短線	短線	短線	短線	短線	短線	短線

ポイント1 ア・イの書き方 ★★★

ア・イとも、書き始めと書き終わりを線で結ぶと水平になるように書きましょう。



ポイント2 アイの書き方 ★★★

アイは、下から右回りの真ん丸い円になるように書きましょう。



ポイント3 エイの書き方 ★★★

エイは、エの最後に小さい円を左側につけましょう。



《 例 題 》

会う	家	上	終え	青い
				

絵を

>

お家(オI)

く

相生(アI)

人

鋭意(イI)

い

### 少し高度なテクニック

#### 1. ア・イの書き方

ア・イとも、最初は下（上）方向に直線ぎみに書き、最後の方でぐっと深みをつけて（膨らませて）書きましょう。

〔大きく書くと〕



#### 2. そらしの書き方

ウ+エ・オ、エ+ウ、オ+ウは、前の速記文字（ウ・エ・オ）の最後を少しそらせて曲線ぎみに書きましょう。この書き方を「そらし」と言います。

ウエ

く

ウオ

く

エウ

く

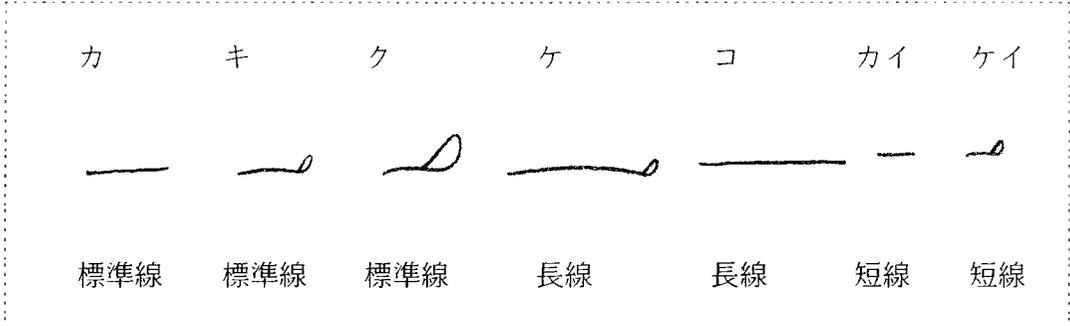
オウ

く

### 【練習例題】

会え 居合い お会い 愛を ウイ

清 音 カ 行



ポイント1 ゆりつぎの書き方 ★★★

カ・コ・カイ+カ行のように同じ方向の線が続いたとき、速記文字の最後の部分を少し戻して次の速記文字を書きましょう。そうするとつなぎ目が濃くなり、2つの線の境目がわかります。この書き方を「ゆりつぎ」と言います。

なお、後に出てきますが、ゆりつぎは同じような方向のときにも使います。

カ・コ・カイ+カ行

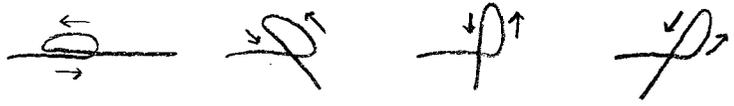


ポイント2 円の回し方 ★★

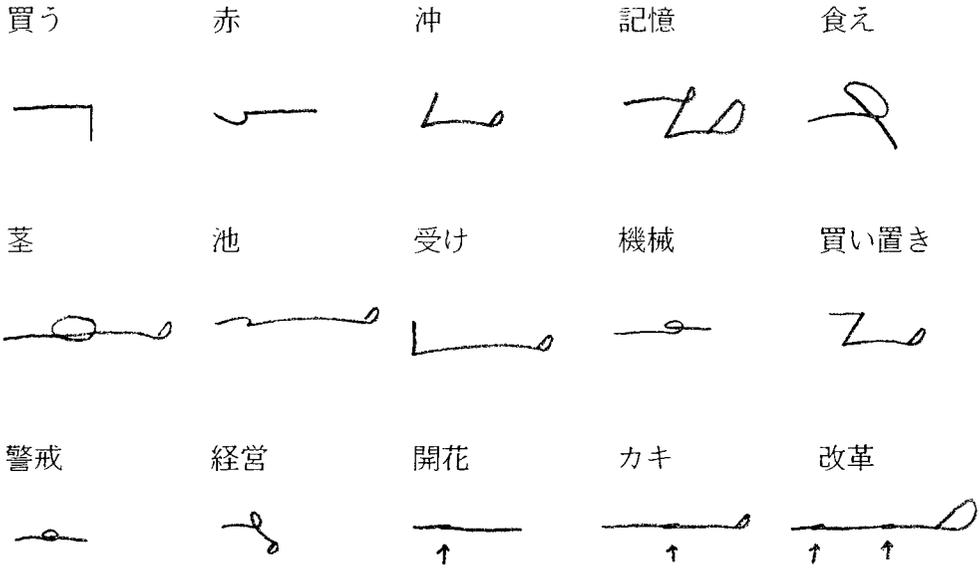
円のついた線（キ・ク・ケ・ケイ）は、後に続く速記文字によって円の形が変わってきます。要領は、円の途中から後に続く速記文字の方向に並行して楕円型を書くことです。

なお、サ行以下の円のついた線も、この要領で書きましょう。

クカ                  クエ                  クウ                  クオ



《 例 題 》



少し高度なテクニック

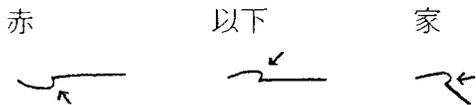
1. そらしの書き方

円のついた直線キ・ク・ケ・ケイは、直線部分を少し山型にそらせて書きましょう。



2. 作角の書き方

円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、その曲線の速記文字の終わり部分をやや深く、あるいはやや膨らませて書くことができます。この書き方を「作角(カク)」と言います。



【練習例題】

顔 消え クコ 請負(ゆかり) 声 赤い 家計 過去 快気 開国

清 音 サ 行

サ	シ	ス	セ	ソ	サイ	セイ
標準線	標準線	標準線	長線	長線	短線	短線

ポイント1 サイ・セイの書き方 ★★★

サイ・セイの曲線は、半円形になります。書き始めと書き終わりを直線で結ぶと垂直になるように書きましょう。



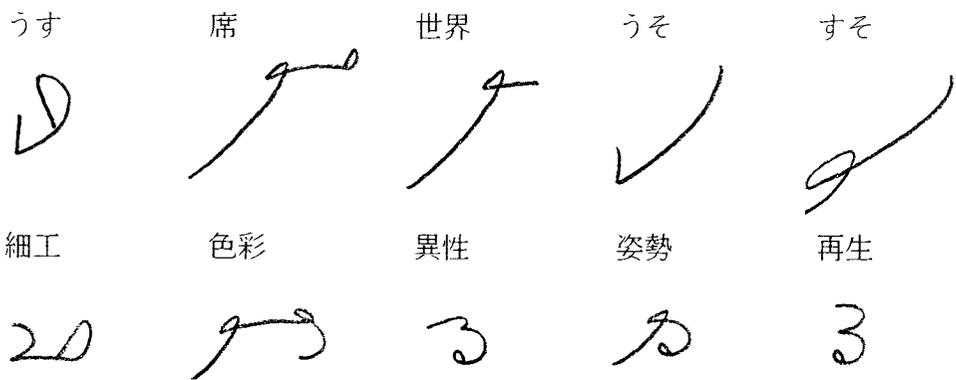
ポイント2 譲り合い ★★★

「最愛」などは、普通に書くと速記文字同士が重なってしまいますが、重ならないよう、サイもアイも少し偏平ぎみに書きましょう。



《 例 題 》

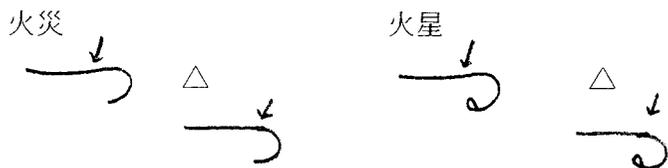
えさ	さお	塩	司会	末



少し高度なテクニック

1. そらしの書き方

カ・コ・カイ+サイ・セイは、シャープをとめず、またゆりつぎをせずに、カ・コ・カイの直線をわずかに弓なりにそらせて一筆で書きましょう。  
書きにくければ、ゆりつぎを使っても構いません。



2. 作角の書き方

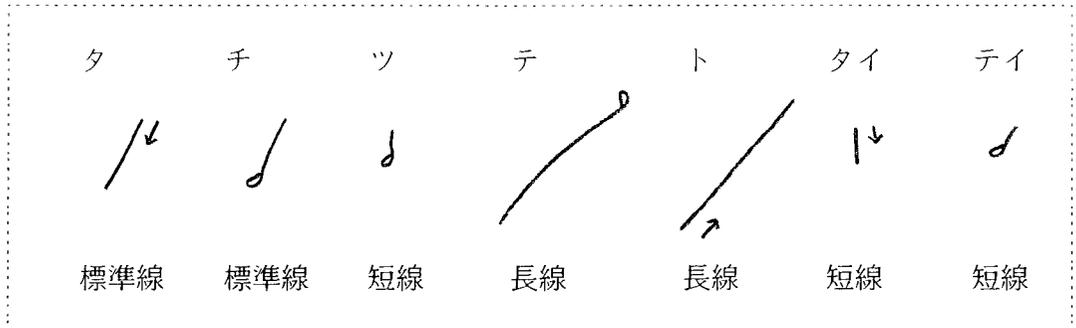
カ行で説明したように、円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、作角を使って書くことがあります。



【練習例題】

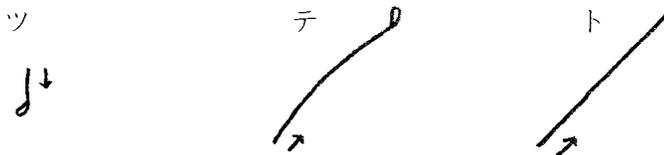
さお 式 すし せき 遅く 愛妻 掲載 規制 改正 素足

# 清 音 タ 行



## ポイント1 ツ・テ・トの書き方 ★★★

ツは、ア列+大円という原則からすると例外的な書き方になります。また、テ・トも方向が違いますので、注意しましょう。



## ポイント2 ウとタイ ★★★

ウとタイは同じ形になりますが、文章練習に入るとその前後の速記文字によってどちらかわかりますので、余り気ないようにしましょう。

期待=気宇(キ)



## ポイント3 「大体」の書き方 ★★

タイが2つ続いた場合（濁音を含む）、特別にタイを横に並べて書きましょう。  
なお、ウ+タイ、タイ+ウの場合は、ゆりつきになります。タ+オも同様です。

大体	歌いたい	大雨(夕夕)	夕オ
	→	→	→/

《 例 題 》

高い	竹	地下	基地	つえ
L	L	L	フ	え
くつ	手先	鉄	土地	都会
フ	フ	フ	フ	フ
大会	体格	提起	訂正	停滞
L	L	L	フ	フ

少し高度なテクニック

1. そらしの書き方

円のついたチ・ツ・テ・テイは、キ・ク・コと同じように直線部分を少し山型にそらせて書きましょう。

またイタも、一筆でタをそらせて書くと崩れませんし、きれいに書けます。

チ	ツ	テ	テイ	イタ
チ	ツ	テ	テイ	イタ

2. 角度の変化

例えば「都会」といった場合、トを45度の線で書くとカイが書きにくくなりますので、トを少し立て気味に書きましょう。

都会



【練習例題】

滝 空いた 近く 机 カツオ 立てた 意図 退屈 提訴 時計

清 音 ナ 行

ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ナイ	ネイ
						
標準線	標準線	標準線	長線	長線	短線	短線

ポイント1 ナ行の書き方 ★★★

ナ行は、ア・イで説明したように、ナの書き始めと書き終わりを線で結ぶと水平になるように書きましょう。



ポイント2 ニ・ネ・ネイとヌの円の締め方 ★★

ニ・ネ・ネイの円の締め方とヌの円の締め方が違います。

ニ・ネ・ネイは、ナの書き終わり部分に向かって締めますが、ヌはナの中央に向かって締めます。締めるときは、いずれも直線で書きましょう。



ポイント3 ナイの書き方 ★★★

ナイの曲線は、サイと同じく半円形になります。円を浅く書くとアと紛らわしくなるので注意しましょう。

なお、これも、書き始めと書き終わりを線で結ぶと水平になるように書きましょう。

ナイ



ア



#### ポイント4 ゆりつぎの書き方 ★★★

エ+ナ行、ウ(タイ)+ナイは、カ行で説明したように、前の速記文字と後の速記文字が同じような方向ということで、ゆりつぎを使って書きましょう。

エ+ナ行



ウ(タイ)+ナイ



#### ポイント5 流しの書き方 ★★

イ+ナ行は、シャープをとめずに一筆で一気に流して書きましょう。この書き方を「流し」と言います。

例えばイナは、イの後半からナを書くつもりで書きましょう。

否



稲



#### 《 例 題 》

夏



情け



肉



煮炊き



抜く



絹



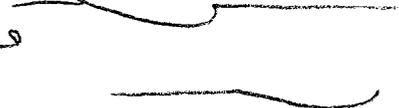
熱意



常に



きのこ



この



市内



以内



丁寧



エノキ

命

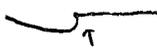


少し高度なテクニック

1. 作角の書き方

カ行で説明したように、円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、作角を使って書くことがあります。

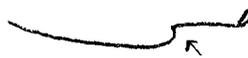
中



ナシ



軒



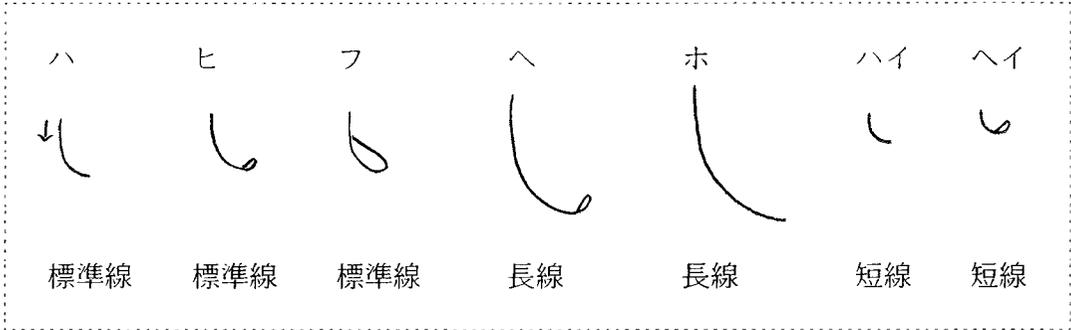
内科



【練習例題】

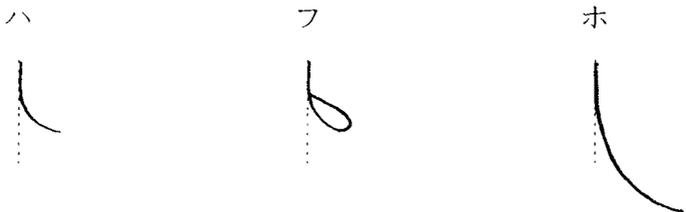
泣く 西 抜け穴 種 のたうつ 内地 体内 静寧(セイレイ) 犬 稲作

清 音 ハ 行



ポイント1 ハ行の書き方 ★★★

ハ行は、書き始めは下方向直線ぎみにし、後半からぐっと曲げて書きましょう。



ポイント2 ゆりつぎの書き方 ★★★

ウ(タイ) + ハ行は、カ行で説明したように、前の速記文字と後の速記文字が同じような方向ということで、ゆりつぎを使って書きましょう。

ウ(タイ) + ハ行

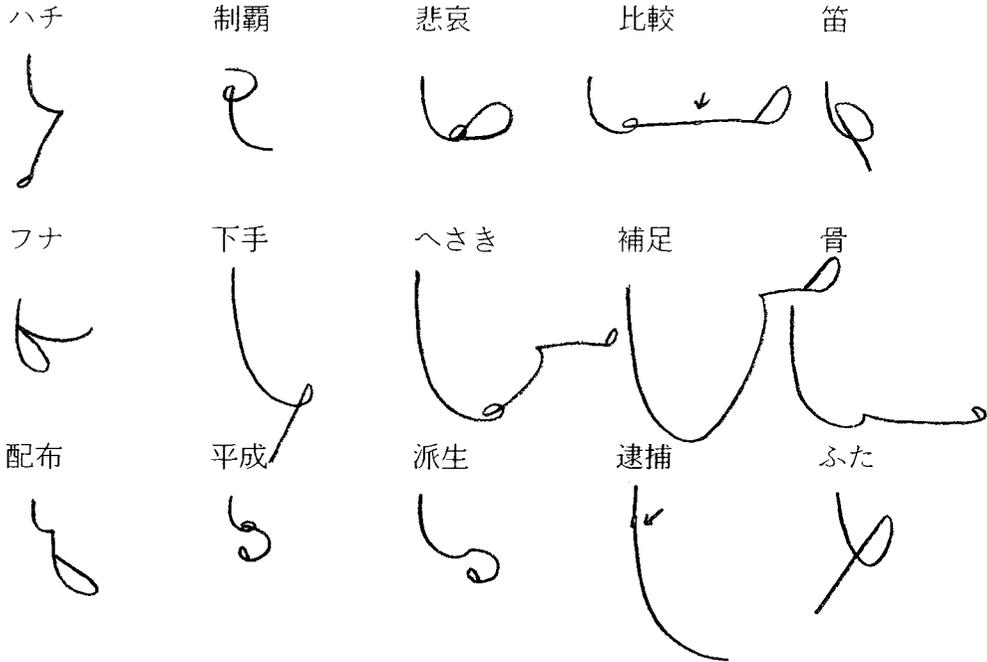


ポイント3 流しの書き方 ★★

ハ・ホ + サ行は、ナ行で説明したように、流しで書きましょう。



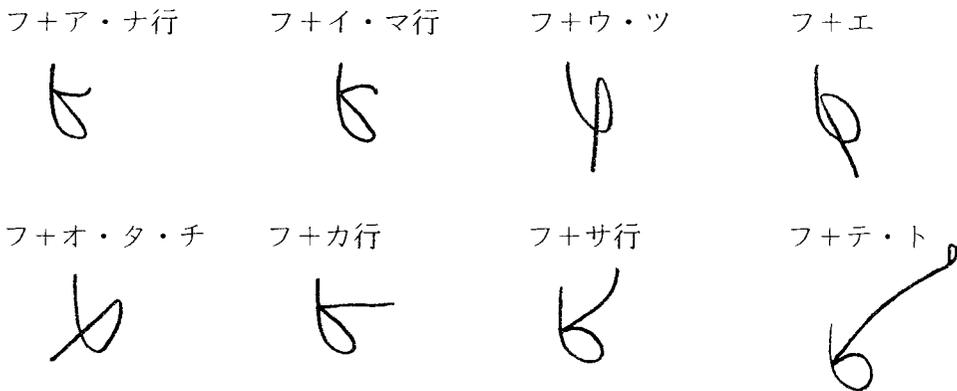
《 例 題 》



少し高度なテクニック

1. フの大円の書き方

フの大円は、後に続く言葉によって次のように変わってきます。これは、速く書くための書き方でもあります。



2. そらしの書き方

オ・タ+ハ行は、カ行で説明したように、オの直線の最後の方を少しそらせて書きましょう。書きにくければ、オ全体をそらせても構いません。

お話



タフ



### 3. 作角の書き方

カ行で説明したように、円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、作角を使って書くことがあります。

博多



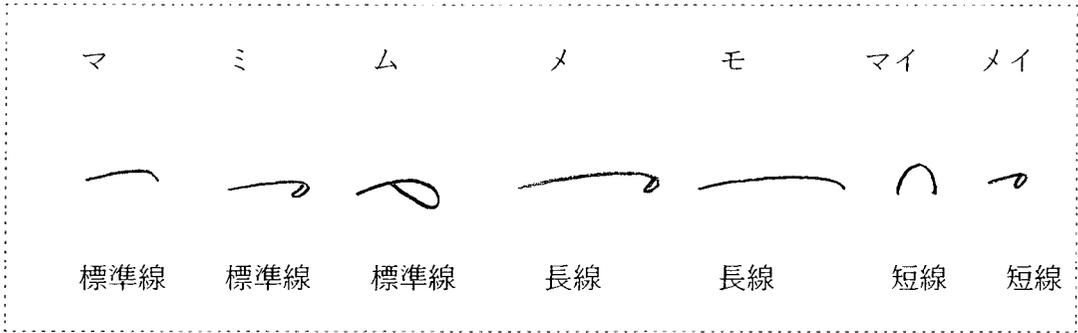
花



#### 【練習例題】

畑 被災 不得手 へそ 補佐 配置 閉鎖 右派 補正 オフ

清 音 マ 行



ポイント1 マ行の書き方 ★★★

マ行は、ア・イで説明したように、マの書き始めと書き終わりを線で結ぶと水平になるように書きましょう。



ポイント2 ミ・メ・メイとムの円の締め方 ★★

ナ行と同じように、ミ・メ・メイの円の締め方とムの円の締め方が違います。

ミ・メ・メイは、マの書き終わり部分に向かって締めますが、ムはマの中央に向かって締めます。締めるときは、いずれも直線で書きましょう。



ポイント3 ミ・メ・メイの円の回し方 ★

ミ・メ・メイの円は、後に来る速記文字が水平と上方向のとき回しますが、下方向に対しては、次のようになります。

見たい

見栄え

見え



ポイント4 マイの書き方 ★★★

マイの曲線は、サイ・ナイと同じく半円形になります。円を浅く書くとイと紛らわしくなるので注意しましょう。

なお、これも書き始めと書き終わりを線で結ぶと水平になるように書きましょう。

マイ

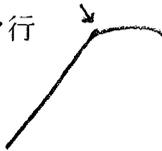
イ



ポイント5 ゆりつぎの書き方 ★★

ト+マ行は、カ行で説明したように、前の速記文字と後の速記文字が同じような方向ということで、ゆりつぎを使って書きましょう。

ト+マ行



ポイント6 流しの書き方 ★★

イ・マ・モ+ナ行、ア・ナ・ノ+マ行は、ナ行で説明したように、流しで書きましょう。

イ・マ・モ+ナ行

ア・ナ・ノ+マ行



ポイント7 「まあ」「もう」「思う」の書き方 ★

「まあ」「もう」「思う」は、特に「マア・モオ・オモ」と書きましょう。

まあ

もう

思う



《 例 題 》

仲間

暇

店

道

虫



胸

メカ

飯

持つ

毎日



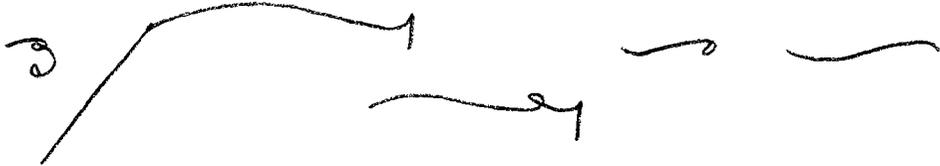
名声

伴う

間に合う

網

生(ナ)



少し高度なテクニック

1. そらしの書き方

マ・モ+円のついていない左下方向タ行も、イタと同じく一筆で、タ行をそらせて書きましょう。

また

モタ



2. 作角の書き方

カ行で説明したように、円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、作角を使って書くことがあります。

幕

豆

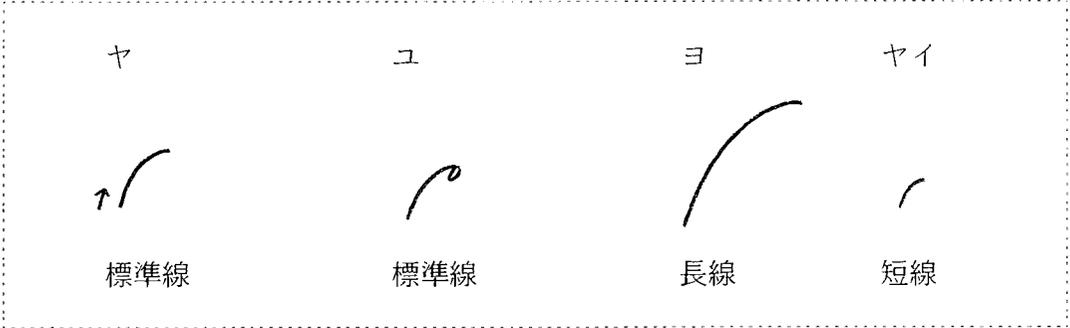
マイク



【練習例題】

前 意味合い 向かう 目下 もの 見舞い 名医 富(トミ) 真夏 ノミ

清　音　ヤ　行



ポイント1 ユの書き方 ★★★

ユは、ア列+大円という原則からすると例外的な書き方になります。

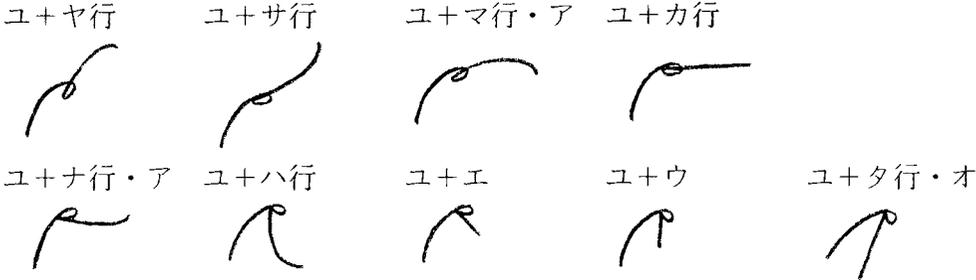
ポイント2 ユの円の締め方と回し方 ★

ユの円は、ヤの書き終わり部分に向かって締めます。締めるときは、いずれも直線で書きましょう。



また、ユの円は、後に来る速記文字によって次のように変わります。

後に来る速記文字がナ行を除く水平方向、また右上方向のときは円を回しますが、ナ行と右下・真下・左下方向のときは回しません。



ポイント3 流しの書き方 ★

サ・ソ+ヤ行、ヤ・ヨ+サイ・セイは、ナ行で説明したように、流して書きましょ

う。

サ・ソ+ヤ行



ヤ+サイ



ヤ+セイ



《 例 題 》

視野



野宮



屋根



夢



湯飲み



冬



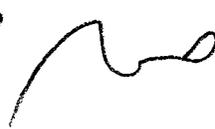
予定



夜泣き



余白



やいば



早い



油性



素養



悩み



生野菜



少し高度なテクニック

1. 流しの書き方

ナ・ノ+ヤ行も、なれば流しで書きましょう。

納屋(ナ)



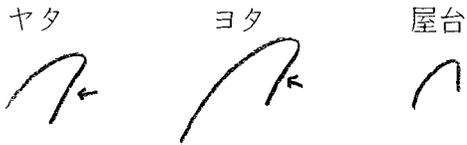
野焼き



2. そらしの書き方

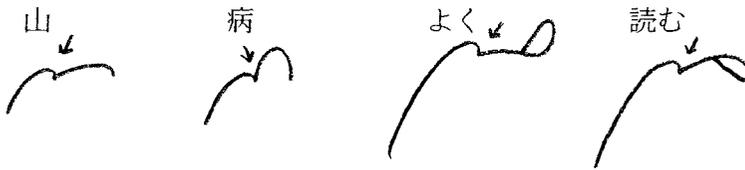
ヤ・ヨ+円のついていない左下方向のタ行も、イタと同じく一筆で、タ行をそらせて書きましょう。

なお、ヤ・ヨ+ウ（タイ）も同じように一筆で書けますが、この場合、そらせなくとも構いません。



### 3. 作角の書き方

カ行で説明したように、円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、作角を使って書くことがあります。



#### 【練習例題】

館(ヤタ) 弓矢 豊か こよみ 焼いた さやか よく 夜道 余生 余地

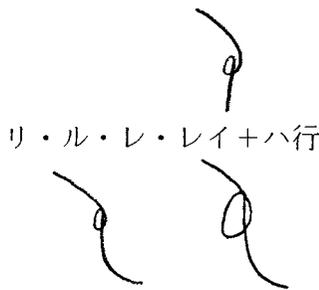
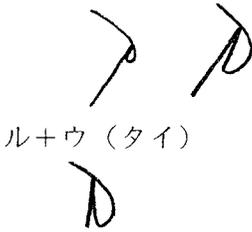
清 音 ラ 行

ラ	リ	ル	レ	ロ	ライ	レイ
						
標準線	標準線	標準線	長線	長線	短線	短線

ポイント1 リ・ル・レ・レイの円の回し方 ★

リ・ル・レ・レイ+左下方向のタ行・オ、リ・レ・レイ+ウ（タイ）、ル+ウ（タイ）、リ・ル・レ・レイ+ハ行の円は、後に来る速記文字によって次のように変わります。

リ・ル・レ・レイ+左下方向のタ行・オ      リ・レ・レイ+ウ（タイ）



ポイント2 ゆりつぎの書き方 ★★

カ・コ・カイ+ラ行は、カ行で説明したように、前の速記文字と後の速記文字が同じような方向ということで、ゆりつぎを使って書きましょう。



ポイント3 流しの書き方 ★

ハ・ホ・ハイ+ラ行、ヤ・ヨ+ラ行、ラ・ロ・ライ+ハ行は、ナ行で説明したように、流しで書きましょう。

ハ・ホ・ハイ+ラ行



ヤ・ヨ+ラ行



ラ・ロ・ライ+ハ行



《 例 題 》

ラスク



あらし



栗



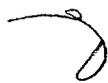
ユリ



イルカ



切る



レタス



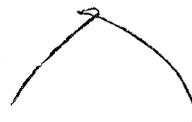
あられ



ロシア



テロ



つらい



きれい



カイロ



入りたい



やれる



少し高度なテクニック

1. 作角の書き方

カ行で説明したように、円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、作角を使って書くことがあります。

楽



裸体



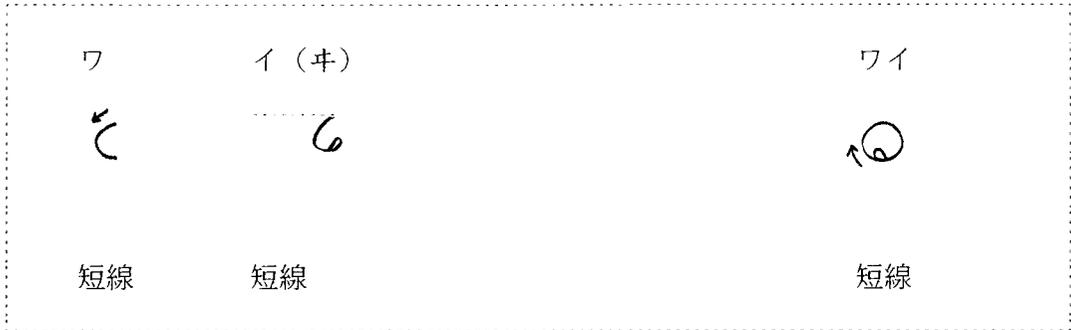
アロエ



【練習例題】

ラフ るり色 理非(り) レトロ ライト 辛い(からい) 比例 春 夜 ふろ

# 清 音 ワ 行



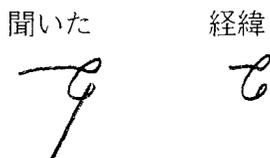
## ポイント1 ワ・イ (ヰ) の書き方 ★★★

ワ・イ (ヰ) の曲線は、サイ・セイ・ナイ・マイと同じく半円形になります。書き始めと書き終わりを直線で結ぶと垂直になるように書きましょう。



## ポイント2 イ (ヰ) の使い方 ★★

「イ (ヰ)」は、1音目に使わないようにしましょう。2音目以降、ア行のイが特に書きにくいときに使いますが、そのほとんどは前字がカ行の複線 (キ・ク・ケイ) となります。



## ポイント3 ワイの円の回し方 ★

ワイは、アイの最後に小円をつけた形ですが、その円の締め方に注意しましょう。なお、この締め方も、次の速記文字によって変わります。

ワイ+カ行



ワイ+サ行



ワイ+タ・チ・オ    ワイ+ツ



ワイ+テ・ト



ワイ+ナ行・ア



ワイ+ハ行



ワイ+マ行・イ



ワイ+ヤ行



ワイ+ラ行



ワイ+ワ



ポイント4 流しの書き方 ★

ワ+カ行・サ行・ナ行・マ行・ヤ行・ラ行は、ナ行で説明したように、流しで書きましょう。

ワ+カ行



ワ+サ行



ワ+ナ行



ワ+マ行



ワ+ヤ行



ワ+ラ行



《 例 題 》

泡(アワ)



平和



つわもの



見渡す



悔い



わいた



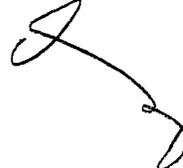
ワイヤ



ワカメ



忘れる



ワニ



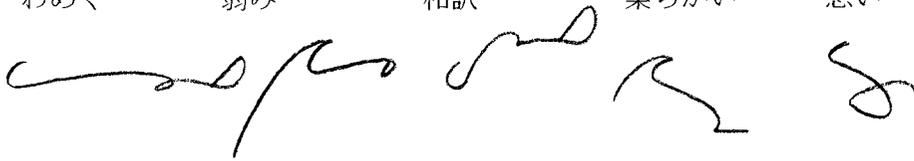
わめく

弱み

和訳

柔らかい

悪い



少し高度なテクニック

1. ワイの書き方

次のような場合は、ワイを少し偏平型に書きましょう。

淡い



祝い



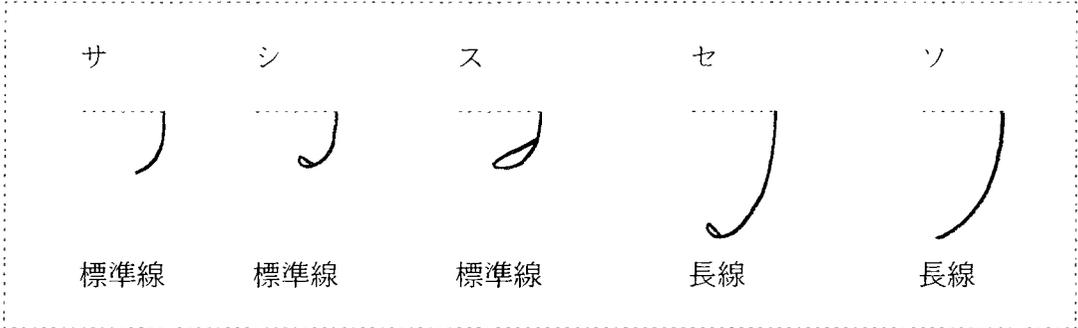
ハワイ



【練習例題】

しわ 庭 かわいい 和歌山 為替(カセ) わな 和名 和洋 我ら 悔いる

# 清音サ行（変規）



## ポイント1 正規文字と変規文字 ★★★

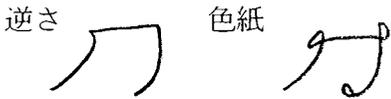
サ行・タ行は言葉によく使われますので、右上方向（サ行・テ・ト）または左下方向（タ・チ）にどんどん伸びないように、特にその逆線となる変規文字というのが設けられています。

なお、正規文字というのは、清音サ行・清音タ行で学んだ文字です。

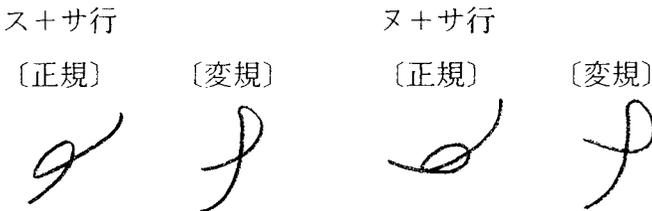
## ポイント2 正規文字と変規文字の使い分け ★★

正規文字と変規文字の使い分けの原則は、

- (1) 単語の1音目には必ず正規文字を用いましょう。（正規先優の原則）
  - (2) 単語の2音目以降は、前字との角度が鋭角になる方を選んで用いましょう。
- どちらも余り変わらないときは正規文字を優先させましょう。（鋭角選用の原則）



なお、ス+サ行、ヌ+サ行のサ行は、どちらでも構いません。



ポイント3 流しの書き方 ★★

ヤ・ヨ+サ行、マ・モ+サ行は、ナ行で説明したように、流しで書きましょう。

ヤ・ヨ+サ行



マ・モ+サ行



《 例 題 》

傘



葉



消せ



こそく



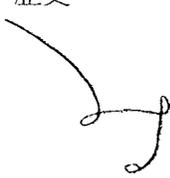
世界史



浅草



歴史



きさま



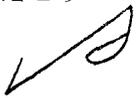
昔



廃止



落とす



怪しい



易しい



よさ



まさしく



少し高度なテクニック

1. 一筆で書く書き方

イ+サ行は、サ行に変規文字を使うと、シャープをとめずに一筆で書くことができます。反面、崩れやすくなりますので注意しましょう。

いす



いそ



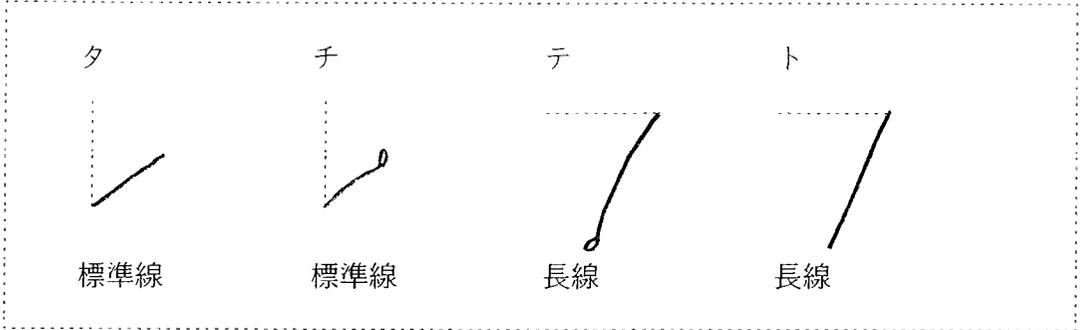
いさかい



【練習例題】

岸 規則 しかし 軽視 都市 千歳(ちとせ) ルクス 卑しい まさに 予測

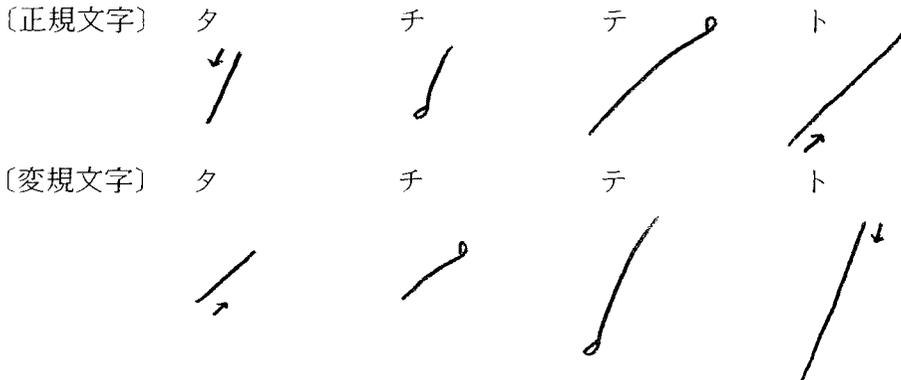
## 清音夕行（変規）



### ポイント1 正規文字と変規文字の方向と角度 ★★★

タ・チとテ・トは、正規文字と変規文字で方向が違いますので注意しましょう。

また、左下方向（正規タ・チ、変規テ・ト）の線と右上方向（正規テ・ト、変規タ・チ）の線とでは少し角度が違います。左下方向は少し立てぎみに、右上方向は少し寝かせぎみに書きましょう。



### ポイント2 正規文字と変規文字の使い分け ★★

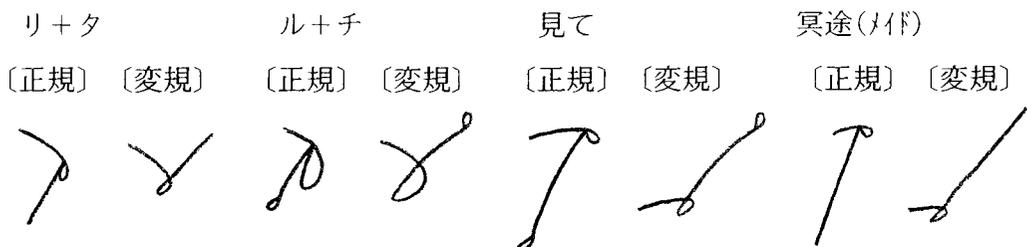
正規文字と変規文字の使い分けの原則は、サ行と同じく、

- (1) 単語の1音目には必ず正規文字を用いましょう。（正規先優の原則）
- (2) 単語の2音目以降は、前字との角度が鋭角になる方を選んで用いましょう。

どちらも余り変わらないときは正規文字を優先させましょう。（鋭角選用の原則）



なお、リ・ル+タ・チ、ミ・ム・メ・メイ+テ・トは、どちらでも構いません。



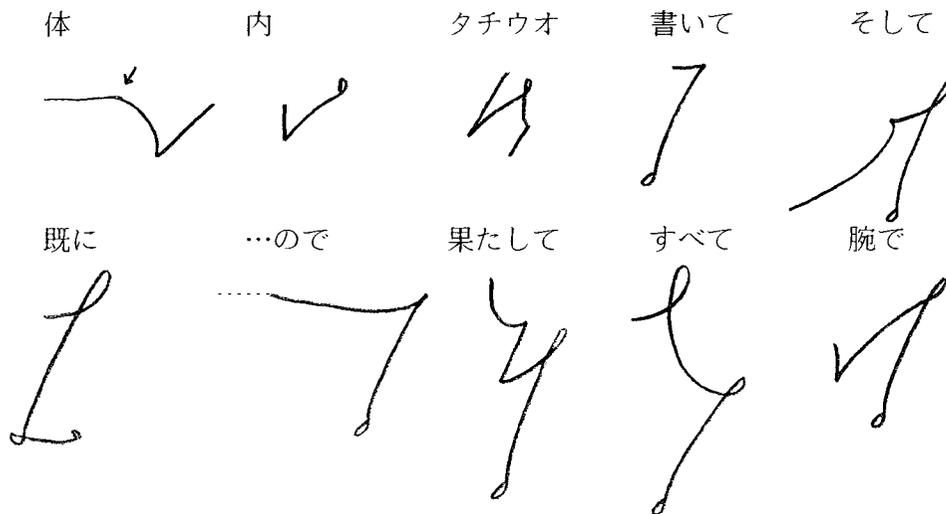
### ポイント3 ゆりつぎの書き方 ★★

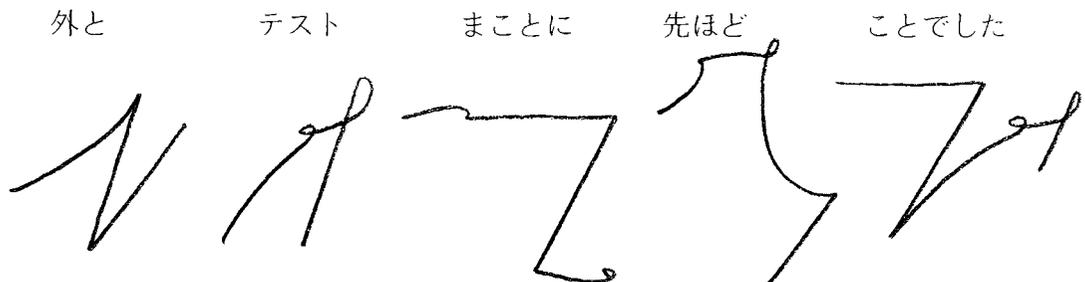
変規文字タ+マ行は、正規文字ト+マ行と同じく、前の速記文字と後の速記文字が同じような方向ということで、ゆりつぎを使って書きましょう。

変規文字タ+マ行



#### 《 例 題 》





\*濁音・長音は、後の項で述べますが、清音と同じように書いても構いません。

### 少し高度なテクニック

#### 1. そらしの書き方

正規文字タ・変規文字ト+ハ行は、ハ行で説明したように、オの直線の最後の方を少しそらせて書きましょう。

正規文字タ+ハ行



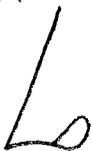
変規文字ト+ハ行



#### 2. 変規文字トを1音目に使う書き方

次の言葉については、特に変規文字を1音目に使っても構いません。

遠く



遠い



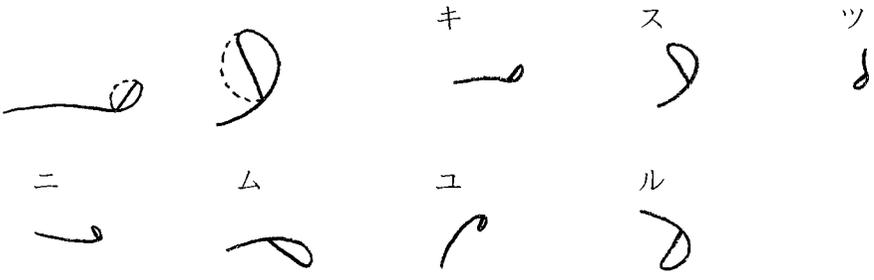
### 【練習例題】

歌 二十(いぢ) して ぞで …わけで 快適 解読 くだい 人 ほど

ま                      と                      め

《                      円                      》

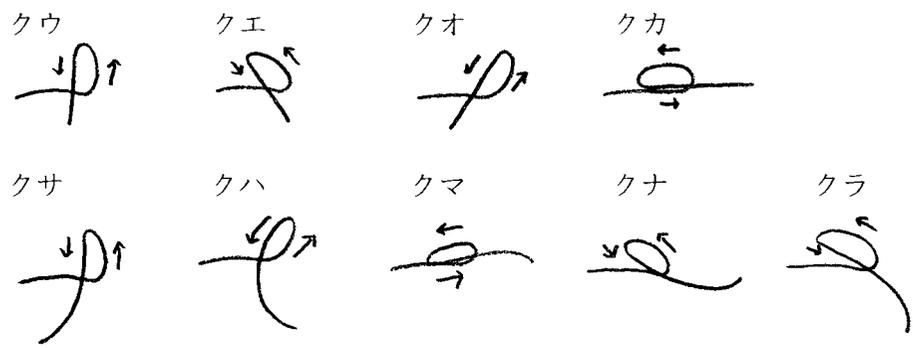
円は、小円も大円も、丸い円ではなく半円形に書きましょう。  
 なお、次に来る字によって半円形が変わります。



《                      円の並行法                      》

円がついた速記文字の後、次の線が続く場合、その円の形は次の速記文字の方向に並行して楕円型になるように書きましょう。

要領は、円の途中から次の速記文字の線に移るように書くことです。

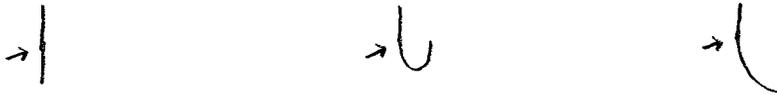


《                      ゆりつき                      》

速記文字の最後に円がついていない速記文字から、同じ方向の直線、また同じよう

な方向の曲線が続いたとき、前字の最後を1～2ミリ程度を戻して次の速記文字に移りましょう。

ウ(タイ) + タイ(ウ)    ウ(タイ) + ナイ    ウ(タイ) + ハ行



エ + ナ行



カ・コ・カイ + カ行



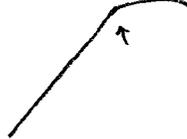
カ・コ・カイ + ラ行



タ + オ



ト + マ行



変規文字タ + マ行



### 《 流 し 》

下記の場合、前の速記文字と次の速記文字との境目でシャープをとめずに1筆で流して書きましょう。

ア・ナ・ノ + マ行



イ・マ・モ + ナ行



サ・ソ + ヤ行



ハ・ホ・ハイ + ラ行



ラ・ロ・ライ + ハ行



ハ・モ + サ行



マ・モ + サ行



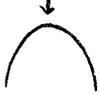
ヤ・ヨ + サ行



ヤ + サイ・セイ



ヤ・ヨ+ラ行



ワ+カ行



ワ+サ行



ワ+ナ行



ワ+マ行



ワ+ヤ行



ワ+ラ行



### 《正規文字と変規文字》

サ行・タ行には、正規文字と変規文字があります。その使い分けの原則は、

- (1) 単語の1音目には必ず正規文字の方を用いましょう。(正規先優の原則)
- (2) 単語の2音目以降は、前字との角度が鋭角になる方を選んで用いましょう。

どちらも余り変わらないときは、正規文字を優先させましょう。(鋭角選用の原則)

< そ ら し >

直線に円がついている場合、その直線部分をわずかにそらせて書きましょう。

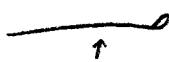
キ



ク



ケ



ケイ



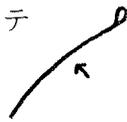
チ



ツ



テ



テイ



単語については、例えば次のようになります。

ウ+エ・オ



エ・オ+ウ



オ・タ+ハ行



変規文字ト+ハ行



カ・コ・カイ+サイ・セイ



イ+左下方向タ行

マ・モ+左下方向タ行

ヤ・ヨ+左下方向タ行



< 作 角 >

円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、その曲線の速記文字の終わり部分をやや深く、あるいはやや膨らませて書くことがあります。

秋



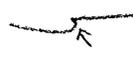
石



坂



中



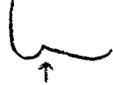
奈良



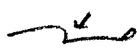
墓



花



牧(マキ)



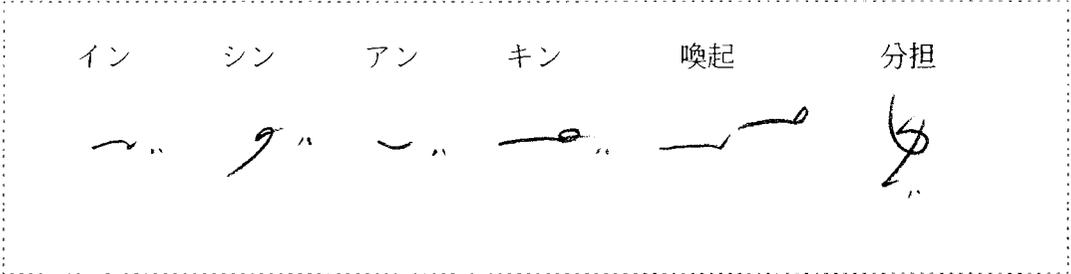
山



楽



撥音



ポイント1 撥音 ★★★

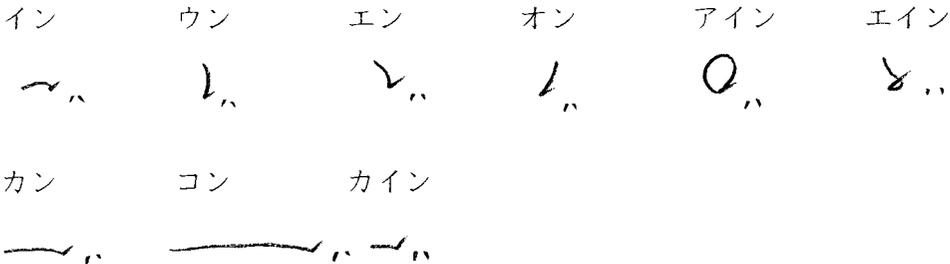
撥音(ハツウ)とは、「ン」のことを指します。片仮名の「ン」、また平仮名の「ん」のように、最後はすっと抜く感じで書きましょう。

なお、この抜く感じというのは、速記用語では「はじく」と言います。速記文字の最後に小さい字で「ハ」と書いているのは、このはじくという意味の説明書きで、速記文字ではありませんので注意してください。



ポイント2 右上方向にはじく撥音 ★★★

撥音の書き方には3つの原則がありますが、イン・シンのように、右上方向にはじく書き方が大原則です。



シン          スン          セン          サイン          セイン

ㄱ"          ㄱ"          ㄱ"          ㄴ"          ㄴ"

サン (変規)    シン (変規)    スン (変規)    セン (変規)    ソン (変規)

ㄴ"          ㄴ"          ㄴ"          ㄴ"          ㄴ"

タン          チン          ツン          テン          タイン          テイン          トン

ㄴ"          ㄷ"          ㄷ"          ㄱ"          ㄴ"          ㄷ"          ㄴ"

タン (変規)    チン (変規)    テン (変規)    トン (変規)

ㄴ"          ㄱ"          ㄴ"          ㄴ"

ナイン                                  フン          ハイン

ㄴ"                                  ㄷ"          ㄴ"

マン          ミン          ムン          メン          モン

ㄴ"          ㄷ"          ㄷ"          ㄴ"          ㄴ"

マイン          メイン          ヤン          ユン          ヨン          ヤイン

ㄴ"          ㄷ"          ㄴ"          ㄱ"          ㄴ"          ㄴ"

ラン          リン          ルン          レン          ロン

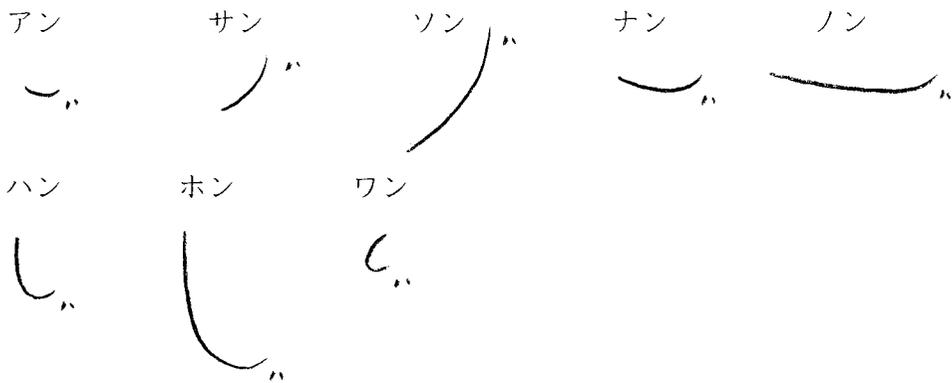
ㄴ"          ㄷ"          ㄷ"          ㄴ"          ㄴ"

ライン          レイン          キン          ワイン

ㄴ"          ㄷ"          ㄴ"          ㄴ"

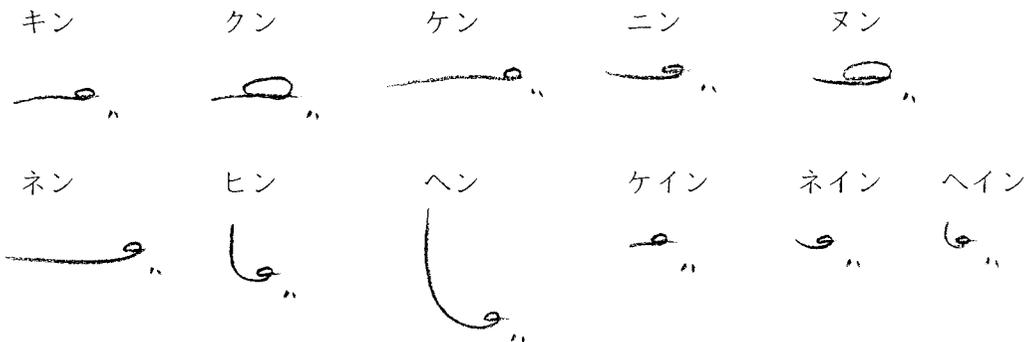
ポイント3 最後をそのままはじく撥音 ★★★

2つ目の原則は、アンのように、円のついていない単線で、書き終わり部分が水平または右上方向を向いている場合は、最後をそのままはじき（流し）ましょう。



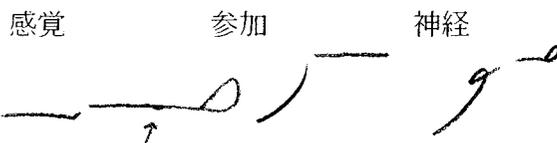
ポイント4 水平方向にはじく撥音 ★★★

3つ目の原則は、キンのように、円のついている複線で右上方向にはじき（抜き）にくい場合は、水平方向にはじき（抜き）ましょう。



ポイント5 撥音の後の書き方 ★★★

撥音の次の速記文字は、撥音ではじいたそのすぐ延長線上から書いていきましょう。



ポイント6 速記文字の交差 ★★

撥音では速記文字同士が交差することもあります、余り気にしなくて構いません。

分担



気分と

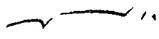


文通



《 例 題 》

印鑑



簡単



関心



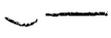
回転



ワイン



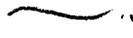
安価



賛成



以南



のんき



基本



最近



人間



定年



品位



変化

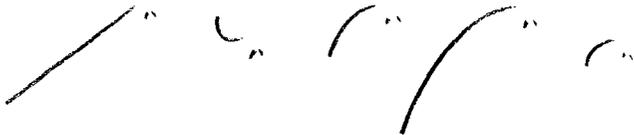


### 少し高度なテクニック

#### 1. 最後をそのままはじく撥音

次の撥音は、右上方向へはじかず、最後をそのままはじいて（流して）書いても構いません。

トン      ハイン      ヤン      ヨン      ヤイン



#### 2. そらしの書き方

円のついていない直線の撥音は、直線部分にそらしを入れましょう。

ウン



エン



オン



カン



### 3. はじくんの角度

円のついている線の撥音は、そのもととなる線（シンはシ）とンのはじく角度を少し変えて書きましょう。

シン



スン



セン



チン



テン



#### 【練習例題】

多端 回診 噴火 資産 村落 香港 難民 否認 認識 ワンマン

詰 音

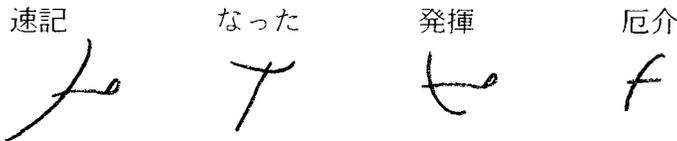


ポイント1 詰音 ★★★

詰音(キツウ)とは、「ッ」のことを指します。詰音は、詰音の前の速記文字を詰音の後の速記文字で切る（交差させる）形であらわします。

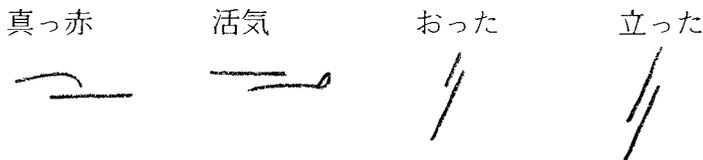
ポイント2 交差させる詰音 ★★★

詰音の書き方には3つの原則がありますが、「速記」のように、詰音の前の速記文字の中央を、詰音の後の速記文字の頭を1ミリぐらい出して交差させる書き方が大原則です。



ポイント3 並行させる詰音(1) ★★★

2つの原則は、「真っ赤」のように、詰音の前と後の速記文字が同じ方向の場合、詰音の前の速記文字の中央下（または中央右）1～2ミリのところから詰音の後の速記文字を並べて書きましょう。



ポイント4 並行させる詰音(2) ★★

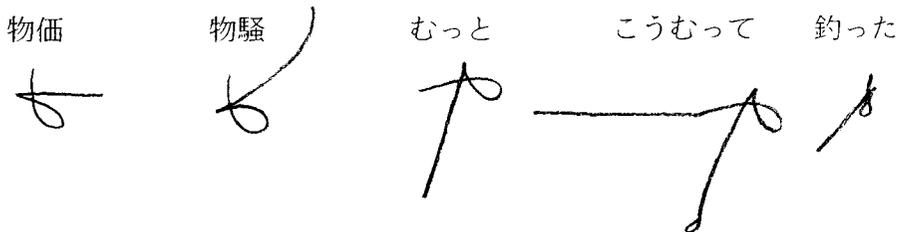
「劣勢」のように、詰音の前と後の速記文字が同じ方向でない場合も、交差しにくいときは並行させて書きましょう。



ポイント5 シャープを離さないで交差させる詰音 ★

3つ目の原則は、「物価」のように、詰音の前の速記文字が大円のとき、シャープを離さずに交差して書くことができます。主に、詰音の前の速記文字がフ・ムるときに使います。

また、「釣った」のように、短線に小さい円がついている場合も、同じように書くことができます。主に、詰音の前の速記文字がツのときに使います。



ポイント6 点をつける詰音 ★★

「アッ」のように、詰音の後に音がない場合は、詰音の前の速記文字の書き終わり位置より水平右1ミリ離れたところに点「・」を打ちましょう。



《 例 題 》



タッチ



ナックル



めっきり



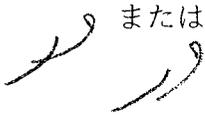
まっかっか



やったって



冊子



物資



かぶって



むっつり



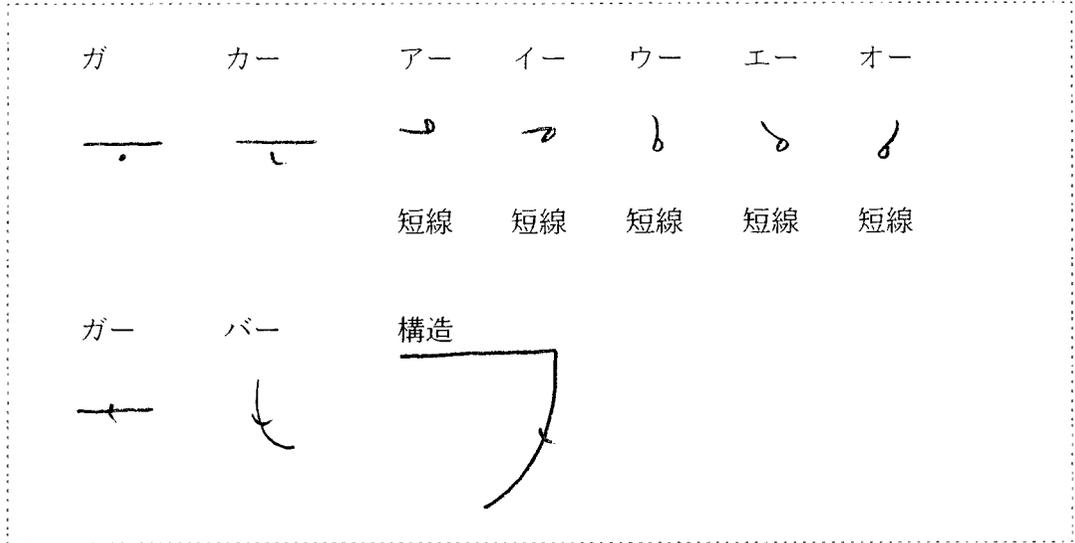
かたっ



【練習例題】

設定 徹底 必死 割って 国会 乗かった 早速 復権 ふっと はっ

## 濁音・長音・長濁音



### ポイント1 濁音・長音・長濁音 ★★★

濁音とは「ガ」のように「ゝ」のついた音、長音とは「カー」のように「ー」のついた音、長濁音とは「ガー」のように濁音と長音がくっついた音を指します。

濁音・長音・長濁音は、それぞれ濁音符号（ゝ）・長音符号（ー）をつけて書きますが、ほとんど前後の文章によって読み分けることができますので、通常、これらの符号は省きます。

後で読み間違ふおそれがあるとき、また自分の知らない固有名詞が出てきた場合のみ符号をつけるようにしましょう。

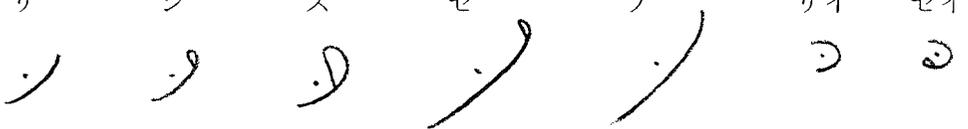
要素                  予想                  様相                  中島(ナカシマ)          長島(ナガシマ)



ポイント2 濁音 ★

濁音は、速記文字の中央下（カ行）または中央左（カ行以外）1～2ミリ離れたところに「・」を打ちましょう。

ガ      ギ      グ      ゲ      ゴ      ガイ      ゲイ  

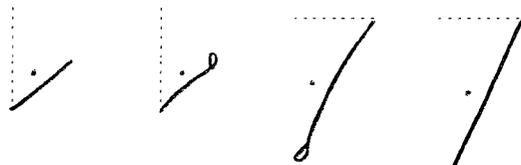

ザ      ジ      ズ      ゼ      ゾ      ザイ      ゼイ  


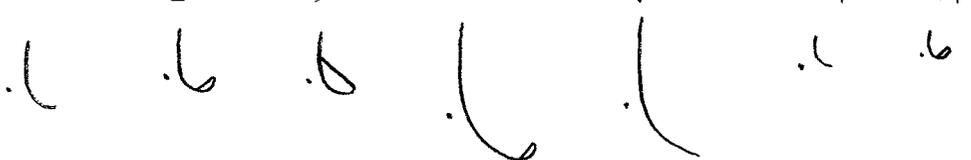
[変規] ザ      ジ      ズ      ゼ      ゾ



ダ      (ヂ)      (ヅ)      デ      ド      ダイ      デイ  


[変規] ダ      (ヂ)      デ      ド



バ      ビ      ブ      ベ      ボ      バイ      ベイ  


ポイント3 長音 ★

長音も、濁点の位置（速記文字の中央下または中央左）に「ゝ」の符合をつけま

しょう。この符合は、最後にはじいてもとめても、どちらでも構いません。

カー	サー	ター	ナー	ハー	マー	ヤー
ラー	ワー					

#### ポイント4 長濁音 ★

長濁音は、速記文字の中央を「し」（長音符号）で切りましょう。

ガー	ジャー	ジャー	ジャー

なお、ハ行については、中央を長音符号で切りにくいときは、逆の形「ノ」で切っても構いません。

パー	ジャー	ジャー	ジャー	ジャー

#### ポイント5 長母音 ★★★

アー・イー・ウー・エー・オーの長母音は、長音符号をつけずに、特にそのもととなる線（アーならア）の最後に小円をつけて書きましょう。

アア・イイ・ウウ・エエ・オオにも使えます。

アー	イー	ウー	エー	オー
短線	短線	短線	短線	短線

#### ポイント6 「…イ」と「…ー」 ★

特にイ列の長音・長濁音で明瞭にイの音を発音する言葉は、「ㇿ」の速記文字を用いましょう。

これについては余り難しく考えずに、長音として聞こえるものは長音符号を入れ、イをつけた方が後で読みやすいと思えばㇿを書くという程度に押さえておくとよいでしょう。

奇異な      思惟      ミイラ      うれしい      聞いた



ポイント7 エ列の長音・長濁音 ★★★

エ列の長音・長濁音は、エ列のイ音文字を用いて書みましょう。

エイ・エー      ケイ・ケー      セイ・セー      テイ・テー・ティ      ネイ・ネー



ハイ・ヘー      メイ・メー      レイ・レー      ゲイ・ゲー      ゼイ・ゼー



デイ・デー・ディ      ベイ・ベー      ペイ・ペー

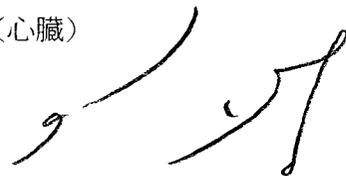


《 例 題 》

腎臓



(心臓)



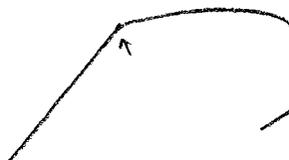
(そして)



どうも



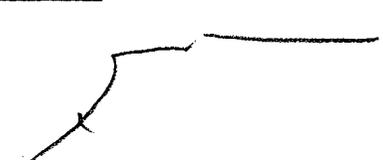
(…とも)

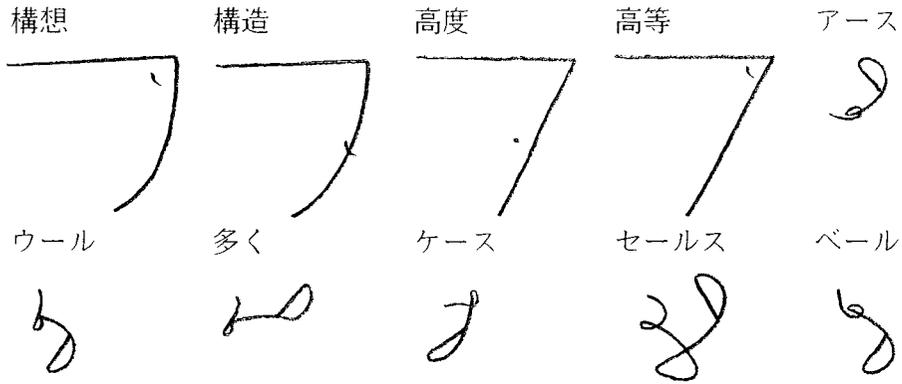


創刊号



増刊号



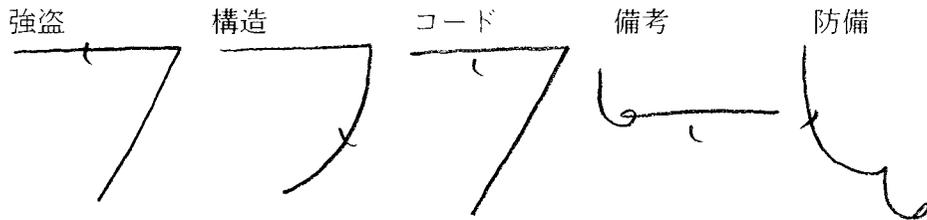


少し高度なテクニック

1. 濁音符号と長音符号

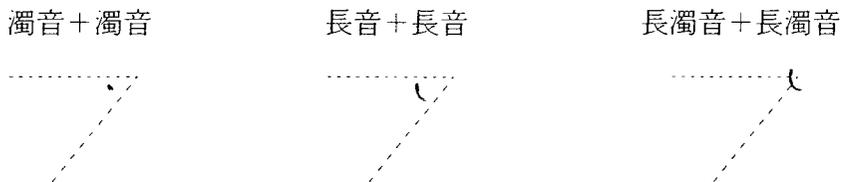
1つの言葉に濁音と長音が入っている場合、それらを区別する符号は1つだけで構いません。

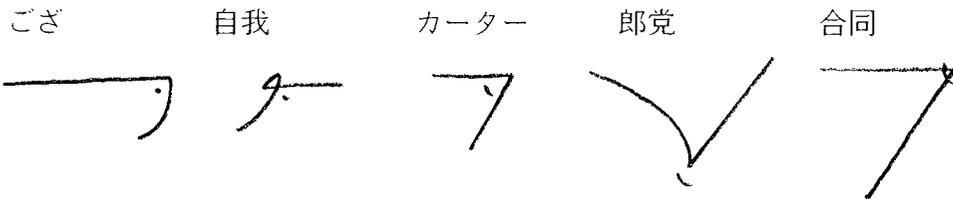
そのとき、①長濁音 ②長音 ③濁音の順番で優先順位を考えましょう。



2. 濁音と濁音、長音と長音、長濁音と長濁音の書き方

濁音と濁音、長音と長音、長濁音と長濁音といった場合、速記文字の境目に符号を1つだけつけましょう。





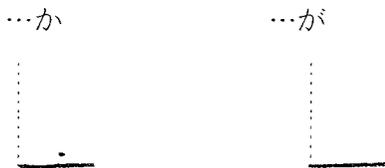
3. イを省く書き方

特に次の言葉については、例外的にイを省いても構いません。



4. 「…か」と「…が」の書き方

文章練習では、助詞の「か」と「が」を区別する必要がありますので、よく出てくる「が」には濁音符号をつけず、頻度の少ない「か」に点「・」を打ちます。なお、このときの点「・」は、速記文字の中央上に打ちましょう。



【練習例題】

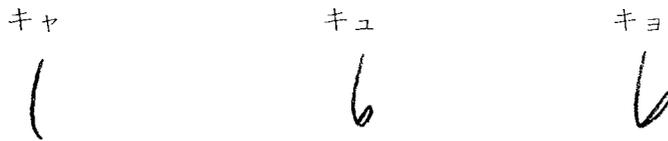
永田（中田） 政党（制度） どうでも（とても） イースト エース 地位  
 楽しい 聞いて ネーム ベーシック

# 拗音カ行



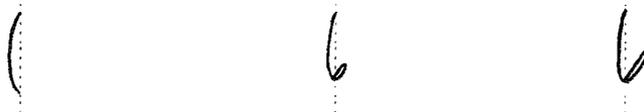
## ポイント1 拗音の構成原則 ★★★

拗音を構成する速記文字の大原則は、ア列は円のない線、ウ列はア列+小円、オ列はア列+楕円となります。



## ポイント2 拗音カ行の書き方 ★★★

キャは、書き始めと書き終わりを線で結ぶと垂直になるように書きましょう。キュ・キョも、そのもととなる線キャが垂直になるように書きましょう。



## ポイント3 楕円の書き方 ★★★

キョは、キャの線に楕円がくっつきます。この楕円は5ミリ程度にできるだけ平たく書きましょう。

ポイント4 キュ・キョの円の締め方 ★

キュ・キョの円は、キャの書き終わり部分に向かって直線で締めましょう。

キュ



キョ



《 例 題 》

キャッチ



却下



キャンセル



ギャラ



おきゅう



休暇



早急に



休日



給与



窮地



教育



割拠



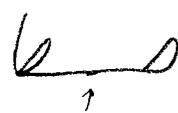
興味



共有



行革



少し高度なテクニック

1. キャンの書き方

キャンは、キャの書き終わりを少し膨らませて角を立て、はじく部分に少しそらしを入れて書いてみましょう。

キャン

[大きく書くと]



2. 一筆で書く書き方

「協定」等は、シャープをとめずに一筆で書きましょう。

協定



漁法



供給



### 3. そらしの書き方

オ・タ+カ行拗音は、オ・タの直線の最後の方を少しそらせて書きましょう。

お客



打球



### 4. 作角の書き方

下記の単語は、作角を使って書きましょう。

きゃはん



脚立(キタツ)



ギャラリー



なお、例えば「キャスト」については、下記のように3種類の書き方ができますが、右側に行くほど速く書けるものの線が不安定になり、崩れやすくなりますので、注意しましょう。

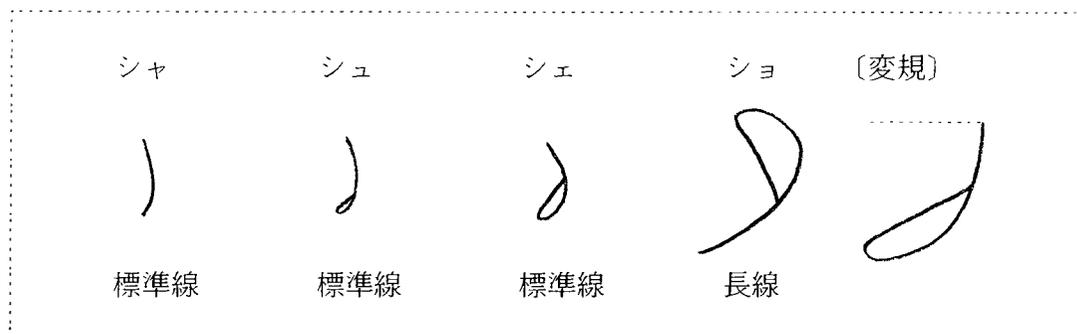
キャスト



### 【練習例題】

客間 逆行 ギャル 窮屈 究明 学級 教師 仏教 漁船

# 拗音サ行



## ポイント1 拗音サ行の書き方 ★★★

シャは、書き始めと書き終わりを線で結ぶと垂直になるように書きましょう。シュ・シェも、そのもととなる線シャが垂直になるように書きましょう。



## ポイント2 シュ・シェの円の回し方 ★

シュの円はキュ・キョとは違ってシャの書き出し方向に向かって、シェの大円はシャの中央に向かって、それぞれ直線で締めましょう。



## ポイント3 ショについて ★★★

ショは、拗音カ行で書いた構成原則から外れ、スの倍以上の大きさとなります。また、ショには正規文字と変規文字があります。

ショの正規文字・変規文字の使い分けは、サ行・タ行と同じように、1音目には正

規文字を用い（正規先優の原則）、2音目以降は前の速記文字との角度が鋭角になる方を用いましょう（鋭角選用の原則）。

なお、正規先優の原則は絶対に守らなければなりません、鋭角選用の原則は余りとられず、書きやすい方で書いても構いません。

ポイント4 ゆりつぎの書き方 ★★★

エ+サ行拗音（ショを除く）は、ゆりつぎを使って書きましょう。

会釈(エシク)



《 例 題 》

社会



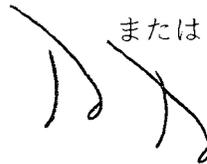
停車



感謝



列車



手段



または

または

出資



収穫



拍手



絵衆(エジュ)



シェア



ジェット機



女性



場所



…ましょう



…でしょう



少し高度なテクニック

1. 作角の書き方

円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、

作角を使って書くことがあります。

遮断(シヤダン)



車内



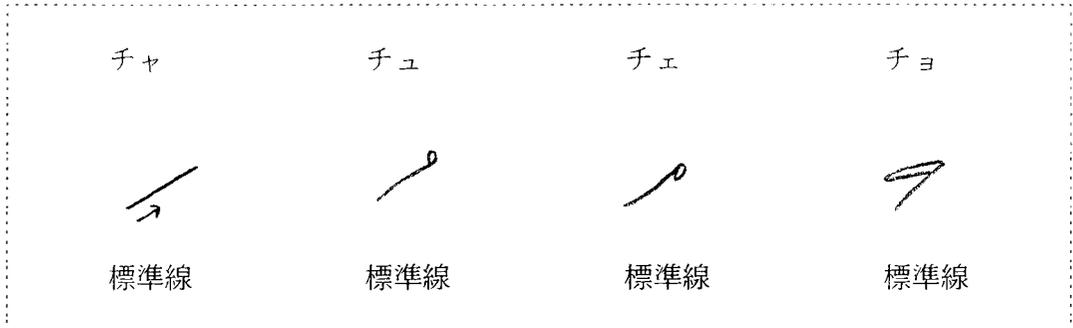
ジャバラ



【練習例題】

会社 王者 社員 主要 住民 操縦 オブジェ ジェトロ 商社 図書

# 拗 音 タ 行



## ポイント1 角度について ★

拗音タ行は、清音タ行よりもやや寝かせて書きましょう。

なお、前後の速記文字によって多少角度が変わりますので、実際には清音タ行とほぼ同様の角度と考えても構いません。

## ポイント2 チュとチェの円の締め方 ★

チュの円はチャの書き出し方向に向かって、チェの円はチャの書き終わり部分に向かって、直線で締めましょう。



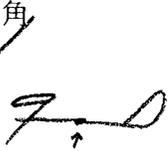
## ポイント3 チェの円の回し方 ★

チェの円は、後に来る速記文字がヤ行以外、回さないで書きましょう。

チェ+カ行    チェ+サ行    チェ+ナ行    チェ+マ行    チェ+ヤ行



《 例 題 》

お茶	茶会	粗茶	ネイチャー	抹茶(マッチャ)
				
仲介	地中海	チューナー	チェコ	チェス
				
チェック	成長	チョコレート	直角	ちょっと
				

少し高度なテクニック

1. そらしの書き方

円のついたチュ・チェ・チョは、そのもととなる線チャの直線部分を少しそらせて書きましょう。



2. チョの書き方

チョの楕円を、直線的に書いてみましょう。



チョは、後に来る速記文字によって次のように変わります。

チョ+カ行      チョ+サ行      チョ+ナ行・ア      チョ+マ行・イ



チヨ+ラ行



チヨ+拗音シャ・シュ・シェ



チヨ+シヨ



チヨ+エの方向 チヨ+サイ・セイ



なお、書きにくければ、チヨでシャープをとめて次の速記文字を書いても構いません。

チヨ+サ行



チヨ+マ行



チヨ+拗音シャ・シュ・シェ



直線的な書き方になれば、チヨから右上方向の線が続くとき、チヨの楕円を省いて次のように書いても構いません。

チヨ+サ行



チヨ+ト



チヨ+ヤ行



### 3. 拗音タ行の変規文字

拗音タ行には、変規文字もあります。正規文字と変規文字の使い分け方は、清音サ行・タ行と同様です。

実際には、変規文字はカ行・テ・トの後に来たときぐらいしか使いません。



標準線



標準線



標準線



標準線

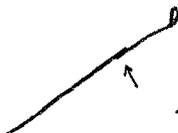
なお、例えば「価値」と「渦中」など区別するため、変規文字を一切使わなくても構いません。

渦中(カチュウ)

(価値)

途中

(土地)



【練習例題】

茶器 着信 チャンス 中級 駐車 殺虫剤 チェロ チェンジ 貯蓄 社長

# 拗 音 ナ 行



## ポイント1 拗音ナ行の書き方 ★★★

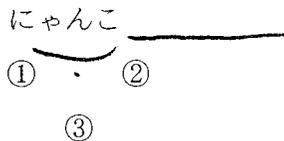
ニャは、書き始めと書き終わりを線で結ぶと水平になるように書きましょう。ニュ・ニョも、そのもととなる線ナ・ノが水平になるように書きましょう。



## ポイント2 ニャの書き方 ★★

ニャの点「・」は、特に別の言葉と間違ふおそれがあるとき以外、通常打たなくても構いません。ナと同じ形になります。

なお、点が必要なとき、ナを書いた後に打ちましょう。また、ニャの後に続く速記文字がある場合、すべての音を書いた後、最後に打ちましょう。



## ポイント3 ニュの書き方 ★★★

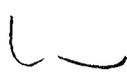
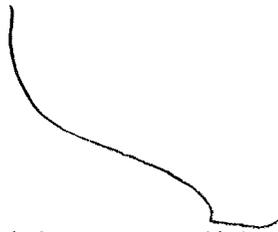
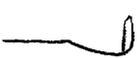
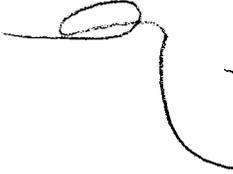
ニュは、ア列+小円という原則から外れ、ウ列方向、すなわち真上に垂直の楕円と

なります。

#### ポイント4 ニョの書き方 ★★★

ニョも、ショと同じように原則から外れ、ヌの倍以上の大きさとなります。

《 例 題 》

コンニャク	般若(ハンニャ)	ふにゃっと		
				
マラゲーニャ	ボローニャ	ニュアンス		
				
入会	加入	歳入	輸入	如実(ニョツ)
				
女官(ニョカン)	尿素	如意棒(ニョイ棒)	如来(ニョライ)	
				

または

#### 少し高度なテクニック

##### 1. ニュ+サ行の書き方

ニュ+サ行で、サ行に変規文字を使ったとき、シャープをとめずに一筆で書きましょう。

入試



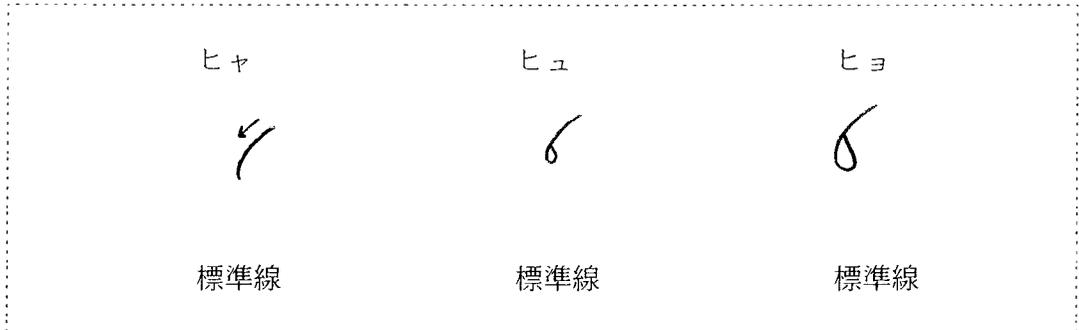
ニュース



【練習例題】

にゃお ぐにゃっと 入院 牛乳 入門 女房 し尿 尿酸 男女(ナンニョ) 天女

# 拗音ハ行



## ポイント1 拗音ハ行の書き方 ★★★

ヒャ・ヒュ・ヒョは、垂直ぎみにならないように書きましょう。



## ポイント2 ヒャの書き方 ★★

ヒャは、上から左下方向への曲線になります。ヤと少し形が違います。

またヒャは、他の速記文字と紛れるおそれがないため、点「・」は打ちません。



## ポイント3 ヒョの書き方 ★★★

ヒョは、ア列+楕円という原則から外れ、大円となります。

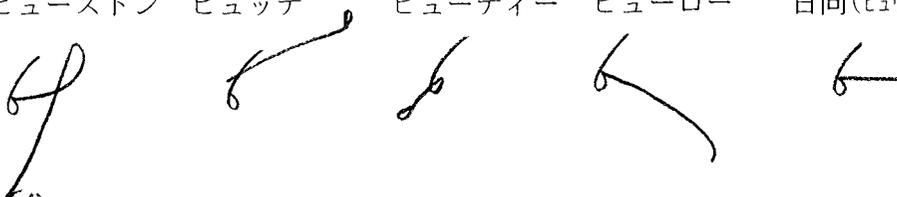


《 例 題 》

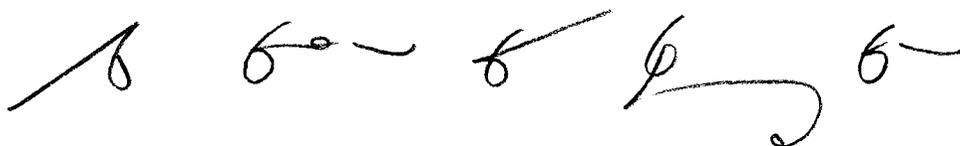
百貨店 百出(ヒャクシツ) 白檀(ビャクタン) 百姓 白衣(ビャクエ)



ヒューストン ヒュッテ ビューティー ビューロー 日向(ヒュウガ)



投票 ひょうきんな ひよっと 表音文字 ひよんな



【練習例題】

百聞 百書 白夜(ビャクヤ) 誤謬(ゴム) ヒューマン ヒューズ 表面 病院 目標  
皮膚病

## 拗音マ行

ミヤ



標準線

ミュ



標準線

ミョ



標準線

### ポイント1 拗音マ行の書き方 ★★★

ミヤは、書き始めと書き終わりを線で結ぶと水平になるように書きましょう。ミュ・ミョも、そのもととなる線マが水平になるように書きましょう。



### ポイント2 ミヤの書き方 ★★

ミヤの点「・」は、ニヤと同様、特に別の言葉と間違ふおそれがあるとき以外、通常打たなくても構いません。マと同じ形になります。

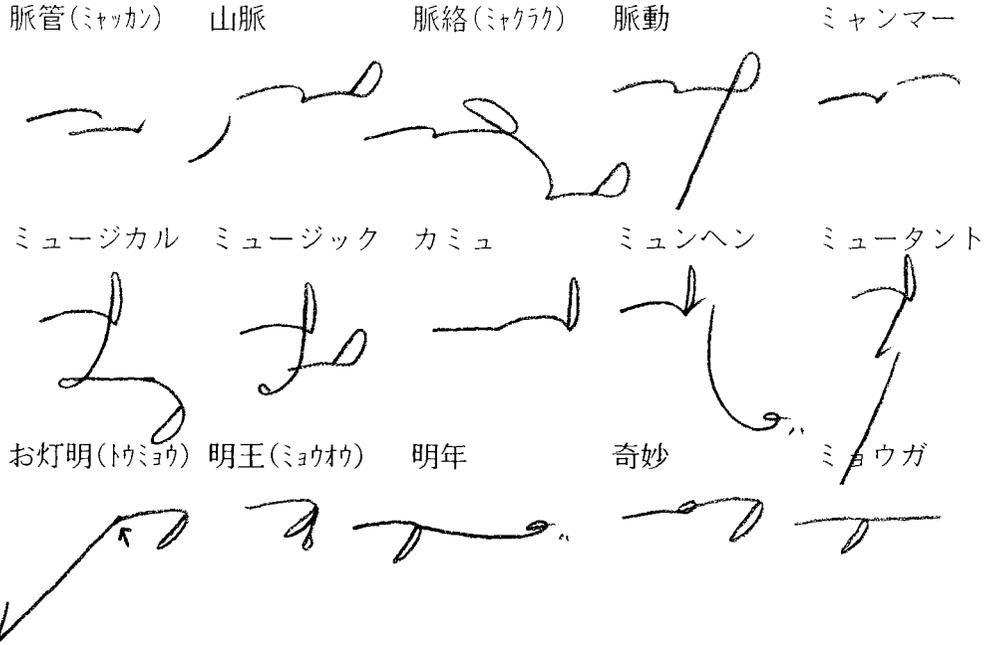
なお、点が必要なとき、マを書いた後に打ちましょう。また、ミヤの後に続く速記文字がある場合、すべての音を書いた後、最後に打ちましょう。

### ポイント3 ミュの書き方 ★★★

ミュは、ア列+小円という原則から外れ、ウ列方向、すなわち真上に垂直の楕円となります。



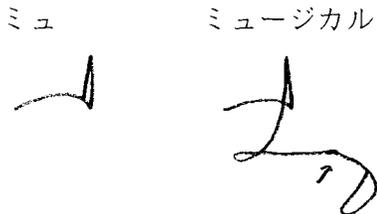
《 例 題 》



少し高度なテクニック

1. ミュの書き方

ミュの楕円は、直線的に書いても構いません。



2. 作角の書き方

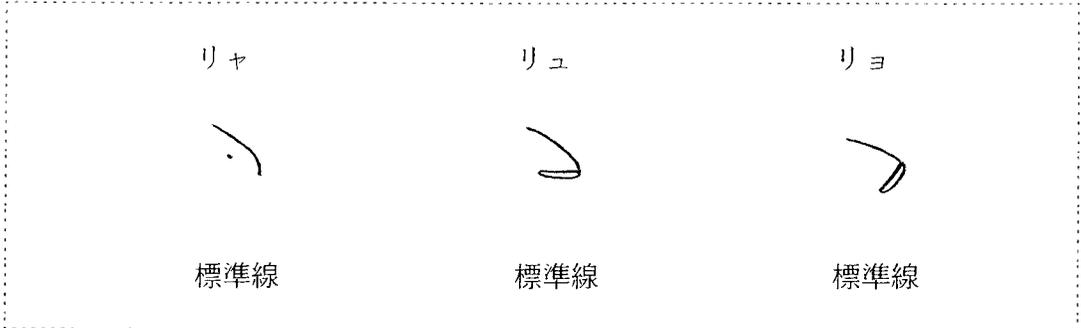
円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、作角を使って書くことがあります。



【練習例題】

脈圧 脈拍 気脈 ミュート ミューズ 明日(ミョウニチ) 寿命 明神(ミョウジン)  
 巧妙(コウミョウ) 妙手(ミョウシュ)

拗 音 ラ 行



ポイント1 リャの書き方 ★★★

リャの点「・」は、ニャ・ミャと同じく、特に別の言葉と間違ふおそれがあるとき以外、通常打たなくても構いません。ラと同じ形になります。

なお、点が必要なとき、ラを書いた後に打ちましょう。また、リャの後に続く速記文字がある場合、すべての音を書いた後、最後に打ちましょう。

ポイント2 リュの書き方 ★★★

リュは、ウ列+小円の原則から外れ、水平方向の楕円となります。

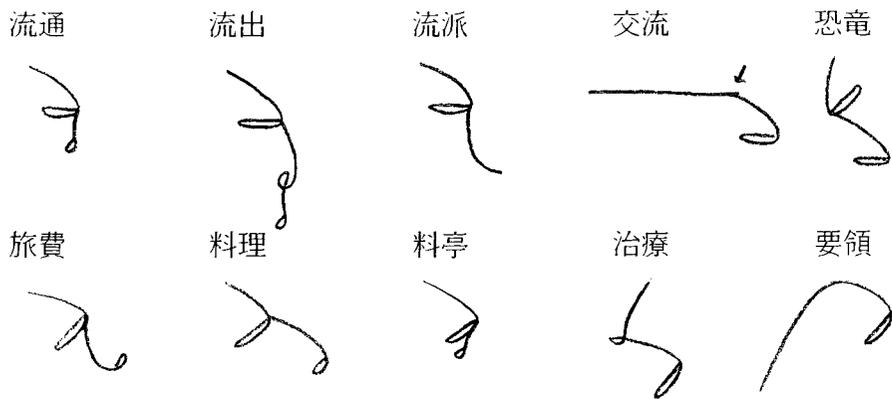
ポイント3 一筆で書く書き方

リュ+カ行は、シャープをとめずに一筆で書きましょう。



《 例 題 》





少し高度なテクニック

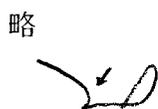
1. リョの書き方

特にリョ+カ行は、リョにリュの線を用いて書きましょう。また、リョ+ナ行・マ行においても、リュの線を使っても構いません。



2. 作角の書き方

円のついていない曲線の後、次の線が続く場合、つなぎ目をはっきりさせるため、作角を使って書くことがあります。



3. 一筆で書く書き方

リュ+カ行のほか、リュ+ア・ナ行・イ・マ行も、シャープをとめずに書きましょ



また、リヨ+サ行・テ・ト・ヤ行も、シャープをとめずに書きましょう。

漁師



両手



療養



【練習例題】

簡略 前略 略式 流動 留年 バリユー 流血 不明瞭 終了 旅客(リョカク)

# 半 濁 音



### ポイント1 半濁音の書き方 ★★★

半濁音とは、「。」のついた音を指します。

清音の構成原則からすると、パ・ピ・ペ以外は原則から外れますが、余り深く考え過ぎないで覚えましょう。

### ポイント2 ペイの書き方 ★★

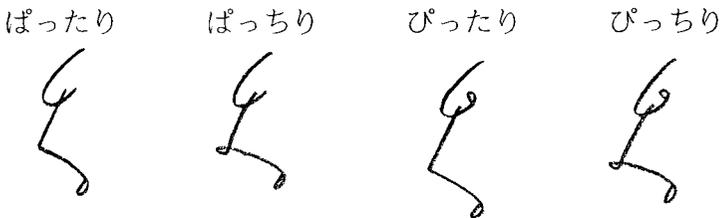
ペイは今までにない形ですが、これも素直に覚えましょう。ペイはペーにも用います。

なお、円の締め方に注意しましょう。



### ポイント3 パ・ピ+詰音の書き方 ★

パ・ピ+ッ+タ・チは、次のような交差になります。



《 例 題 》

パック

ヨーロッパ

原っぱ

ピンセット

雑費

単品

プレゼント

鬱憤(ウツブン)

ペンキ

ペンション

ポイント

本舗(ホンポ)

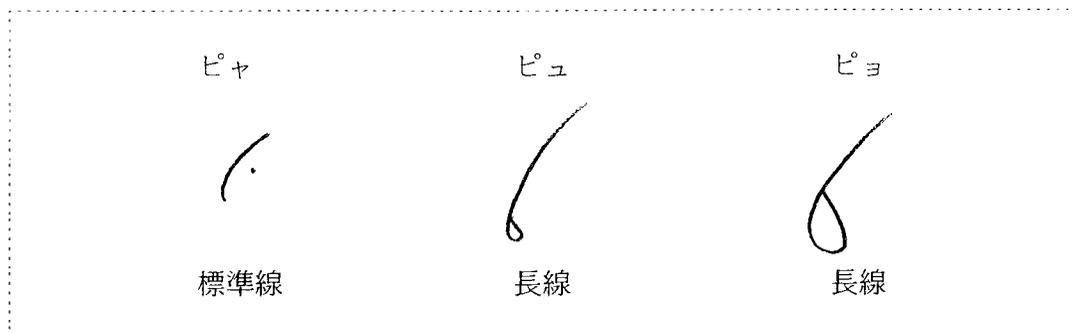
パイナップル 分配

ペイント

【練習例題】

活版(カパン) ぱっと 脱皮 切符 アップ ペガサス 簡保(カボ) パイン  
乾杯(カンバイ) 偏平(ヘンパイ)

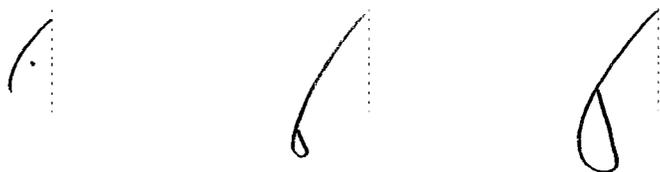
## 半濁拗音



### ポイント1 半濁拗音の書き方 ★★★

半濁拗音とは、半濁音ピ+拗音ャユョの音を指します。

ピャ・ピュ・ピョは、垂直にならないように注意しましょう。



### ポイント2 ピャの書き方 ★★

ピャの点「・」は、ニャ・ミャ・リャと同様、特に別の言葉と間違おうおそれがあるとき以外、通常打ちません。ヒャと同じ形になります。

なお、点が必要なとき、ヒャを書いた後に打ちましょう。また、ピャの後に続く速記文字がある場合、すべての音を書いた後、最後に打ちましょう。

### ポイント3 ピョの書き方 ★★★

ピョは、ショ・ニョと同じように原則から外れ、ヒョの倍以上の大きさとなります。

### ポイント4 撥音・詰音の後のピョの書き方 ★

撥音(ン)・詰音(ッ)+ピョは、擬態語・擬声語のとき以外、ヒョを用いて構い

ません。

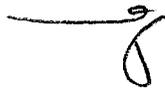
発表



伝票



年表



信憑性(シンビョウセイ)

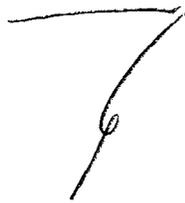


《 例 題 》

ぴゃっと



コンピューター



ピューレ



ぴょんと



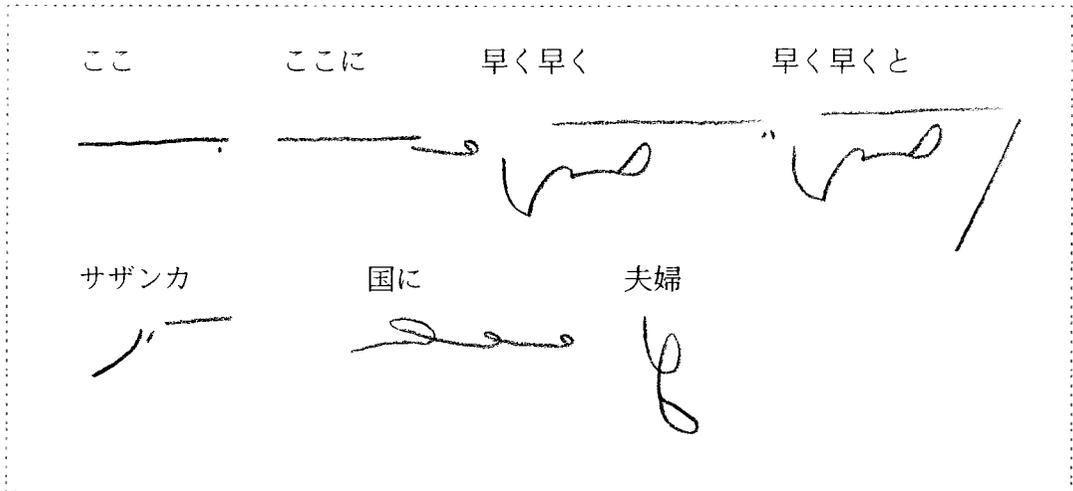
平壤(ピョウヤン)



【練習例題】

ピュア ピューマ ぴょっこり ピョートル 年表

# 重 音

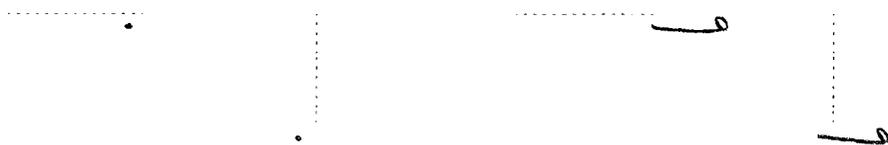


## ポイント1 1重音・2重音の書き方 ★★★

重音とは同じ音が重なった形を指し、1つの音の重なりを「1重音」、2つの音の重なりを「2重音」、3つ以上の音の重なりを「多重音」と言います。

1重音・2重音は、重なる最後の音の速記文字の終わり左下1～2ミリ離れたところに点「・」を打ってあらわしましょう。

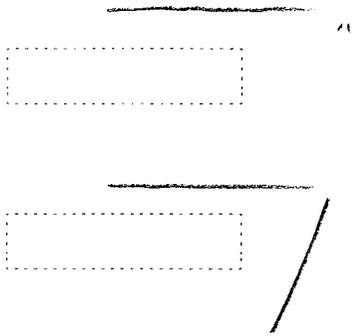
その後に言葉が来る場合は、「ここに」のように、その点から書いていきましょう。



## ポイント2 多重音の書き方 ★★★

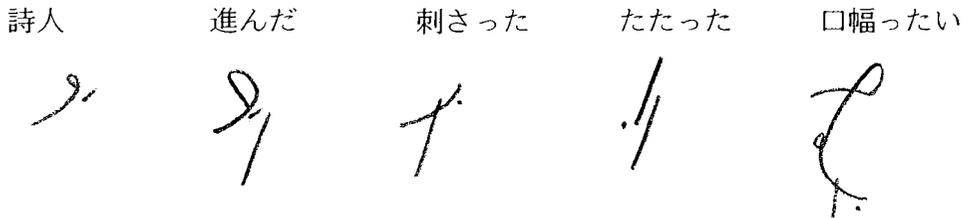
多重音は、「早く早く」のように、繰り返す単語のかたまり中央上あたりから水平直線の長線を引き、書き終わりははじき（流し）ましょう。

その後に言葉が来る場合は、「早く早くと」のように、そのはじいた（流した）先から書いていきましょう。



ポイント3 重音+撥音・詰音の書き方 ★★

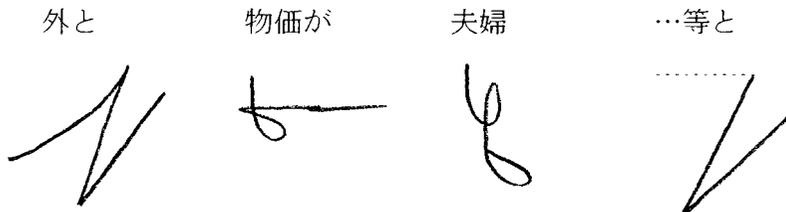
重音の後にン・ッが来た場合も、重音を使いましょう。



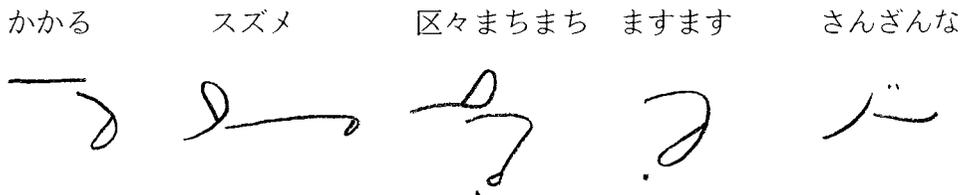
ポイント4 重音を使えないケース ★★★

たまたま複合した言葉同士、また助詞が入っている場合、重音の書き方は使いません。また、長音と短音との組み合わせのときも同様です。

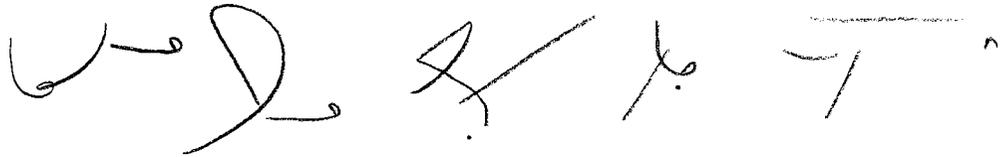
なお、清音と濁音の組み合わせでは使えます。



《 例 題 》



久々に 徐々に すらすらと びびった 何だ何だ



流れ流れて よかった、よかったね 苦しい、苦しいと



### 少し高度なテクニック

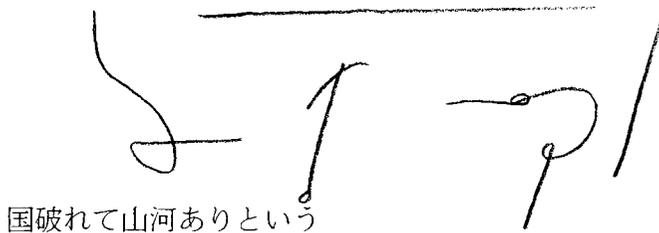
#### 1. 多重音や以下省略といった場合の書き方

全く同じ形の繰り返しでなくても、水平直線の長線であらわすことができます。ただし、途中から繰り返しの形が変わった場合には、その変わった部分から後の速記文字を書いていきましょう。

なお、長線は、繰り返す言葉によってさらに長くなったりもします。

また、自分の知っている言葉などに対しても、「以下省略」の意味でこの多重音の書き方を使うことができます。

春がやってきました。春がやってきますと、



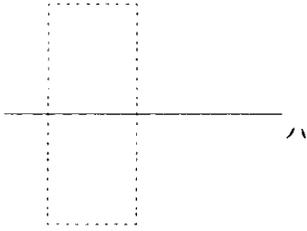
国破れて山河ありという



#### 2. 多重音の変則的な書き方

多重音で、速記文字のかたまりが下方方向に非常に長い場合、水平直線の長線を中央

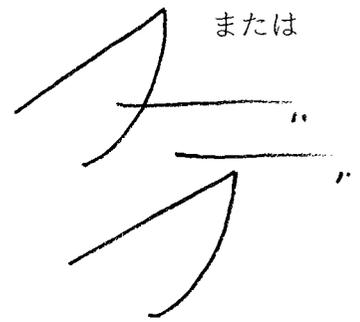
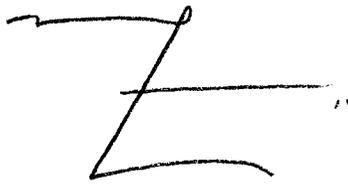
あたりに引いても構いません。



ペナント、ペナントという

行けども行けども

どうぞどうぞ



【練習例題】

母親 くぐる 全然 だんだんと くれぐれも 収拾策(シュウシユウサク) ちらちらと  
使っても使っても 本当に本当だって 速記を習えば速記を習うほど

数 字

1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 または	2	3	4	5	6	7	8	9
12	…十			…百		…千		
12								
	…十万			…百万		…千万		

ポイント1 数字の書き方 ★

数字は、アラビア数字で書いても構いません。  
 その際、7と9など、紛らわしい数字がないか点検しておきましょう。

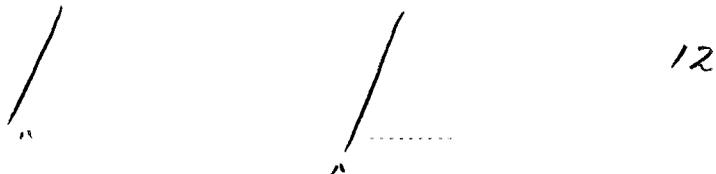


ポイント2 1の書き方(1) ★★★

単独の1は長線で書き、書き終わりははじき(流し)ましょう。  
 12(ジュウニ)といったように、数字の羅列の中の1は、速記文字オと同じく、短く書きましょう。  
 1は、イチのほか、イッ・ヒト…などにも使えます。

なお、1などのように下方向に長い線、しかもはじいた（抜いた）線の後に言葉が来る場合、1などの書き終わり位置よりやや右上から書きましょう。

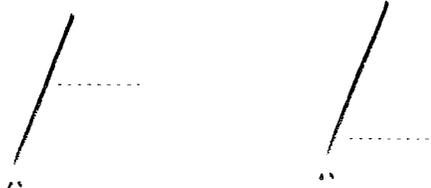
1（イチ・イツ・ヒト） 「1」の次の位置 1 2



### ポイント3 1の書き方(2) ★★★

1をイッの発音したとき、1の中央右から次の速記文字を書きましょう。

1（イッ） 1（イチ・ヒト）



一段



一たん



一台



一体



1人



### ポイント4 数字の位単位の書き方 ★★★

数字の位単位十・百・千・万は、数字にくっつけられればくっつけて書きましょう。

（万・）億・兆の単位は数字と離して書きますが、その際、数字の右下に書きましょう。なお、長線の1を書いた場合、書き終わり位置より1～2ミリ右上からとなります。

12、12万、12億、12兆といった場合、十の単位の速記符号はつけなくても構いません。



60

60

70

70

80

80

90

90

100

100

200

200

300

300

400

400

500

500

1,000

1,000

2,000

2,000

3,000

3,000

4,000

4,000

5,000

5,000

1万

1万

2万

2万

3万

3万

4万

4万

5万

5万

10万

10万

20万

20万

30万

30万

40万

40万

50万

50万

100万

100万

200万

200万

300万

300万

400万

400万

500万

500万

1,000万

1,000万

2,000万

2,000万

3,000万

3,000万

4,000万

4,000万

5,000万

5,000万

1億

1億

2億

2億

3億

3億

4億

4億

5億

5億

1兆

1兆

2兆

2兆

3兆

3兆

4兆

4兆

5兆

5兆

ポイント5 千万の書き方 ★★★

千万の後に言葉が来る場合、千万の点「・」から書いていきましょう。

なお、千万と一千万は区別しておきましょう。

1, 000万円

2, 000万円の

㇏

㇏

千万

一千万

㇏

㇏

ポイント6 数字の後の単位の書き方 ★★

数字に円・本などの単位がついている場合、単位は数字の右下から書きますが、続けて書きやすいときは続けても構いません。

30円

30万円

4,000万円

100万円

30

30

㇏

100

《 例 題 》

15

517

8,532

7万4,003

15

517

8,532

7万4,003

600

8,000

2日

95本

600

8,000

2

95

6,800万円

1億2,345万6,789円

6,800

12,345

6,789

6,789

## 少し高度なテクニック

### 1. 3けたの数字の書き方

3けたの数字については、百・十の単位の速記符合をつけなくても構いません。ただし、102といったように、十の単位が飛んだときは十分気をつけましょう。

1 2 3	1 0 2
<i>123</i>	<i>102</i>

### 【練習例題】

765 4, 982万 2人 5割 90パーセント 500円玉 7兆円  
一生懸命 一石二鳥(イツキニチョウ) 9億8, 765万4, 321円

## 文章練習をする前に

### 1. 原文帳の使い方

原文帳は横長に使いましょう。

また、基本文字段階においては、原文帳1枚につき3行にしておきましょう。基本文字には長い線が多く、4～5行も書くと上の行や下の行と重なることがあります。

さらに、速記文字は詰めて書かず、原文帳の上下左右の余白も十分にとっておきましょう。単語の途中で原文帳からはみ出すおそれがあります。

### 2. 速記文字は文節単位で

速記文字は文節単位を一かたまりとして書きましょう。基本文字段階ではそれより細かく切っても構いません。長くつながると書きにくく、また後で読み返しにくくなります。

### 3. 速記文字は並行線上に

速記文字の書き始め位置は、その前の書き終わり近くから書くのではなく、全体的に見て速記文字が平行線上になるように書きましょう。

〔例〕 まず初めのお話をします。



### 4. 左手は原文帳の左下端に

速記文字を書いているとき、左手を宙ぶらりんにせず、常に原文帳の左下端を持って、いつでも紙をめくれるように準備しておきましょう。

### 5. 書き出しと書き終わり

文章練習では、速記文字を書く前にまず、原文帳左上端に大きく「//」（書き出し

符合)を書きましょう。この2線は、上から書いても下から書いても、またはじいてもとめても構いません。

書き終わったときは「メ」を書き、「○」でくくりましょう(終了符)。



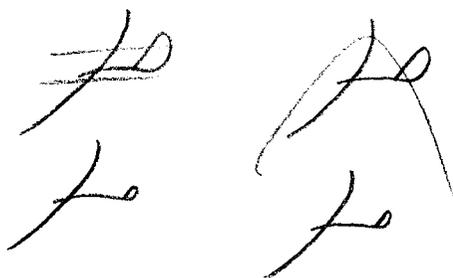
## 6. 速記文字の訂正

速記文字を間違えたとき、その下に正しい速記文字を書くようにしましょう。間違えた上に書くと、後で読み返すとき、どれが正しい速記文字かわからなくなります。

余裕があれば、間違った速記文字に「＝」や山型を引いてわかるようにしておきましょう。

また、間違えても、一々消しゴムで消さないようにしましょう。

「ソック」を「速記」に訂正



## 速記文字文例

### 《第143回速記技能検定試験問題 6級》

まず初めのお話をします。

冬になると、風邪を引く人が多くなります。皆さんの周りにもそういう人がいるのではないのでしょうか。もし風邪を引いてしまったら、早目に体を休めることが大切であります。

しかし、まずは予防することが何よりも重要であります。一番効果があるのは、外から帰ったら、手を洗って、うがいをするのであります。それから、ふだんから体を鍛えておくことも必要であります。

昔から、風邪は万病のもとと言われます。しっかり対策を立てて、元気に冬を乗り切りたいものであります。

それでは、次のお話に入ります。

最近、スーパーなどでは、レジで渡す袋を有料にするところが出てきました。また、袋をもらわない人には、スタンプなどを押してくれるところも多いのであります。それをある程度ためますと、お金にかえることができるわけであります。

私も、買い物に行くときはいつも袋を持っていきます。近ごろは、そういう人がふえてきたようであります。こういうことから、少しでもごみを減らせたらいいいと思います。(了)

A  
L  
Z  
S  
E

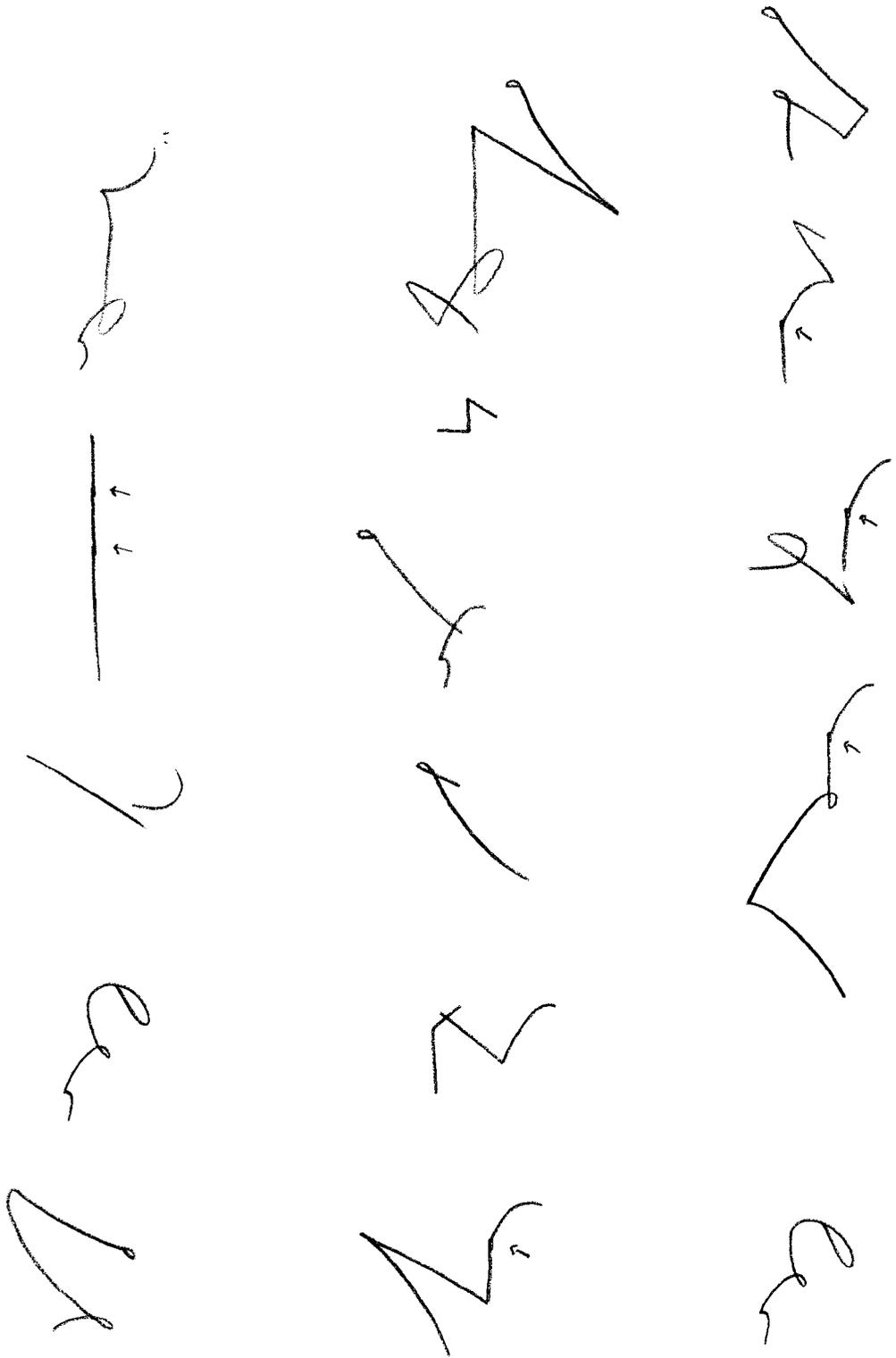
L  
E  
H  
Z  
L

L  
E  
L  
E  
E

Handwritten cursive letters: a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z.

Handwritten cursive letters: A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z.

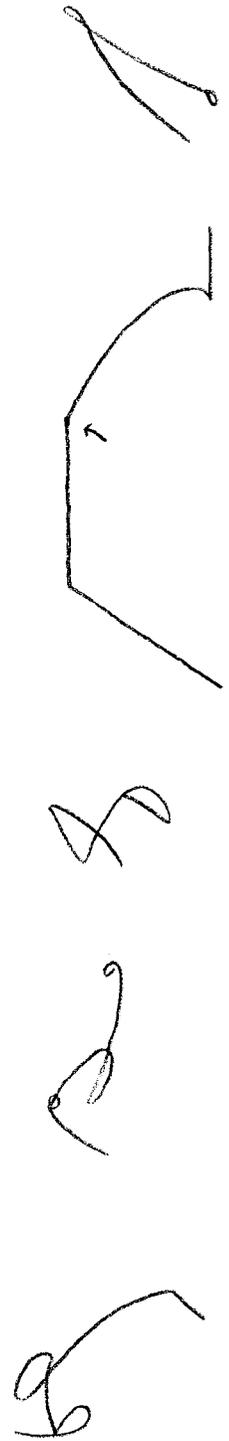
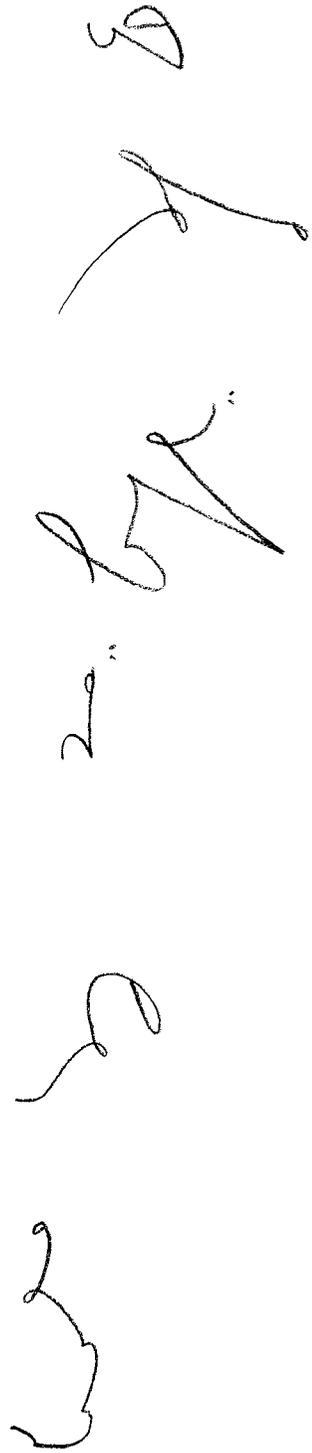
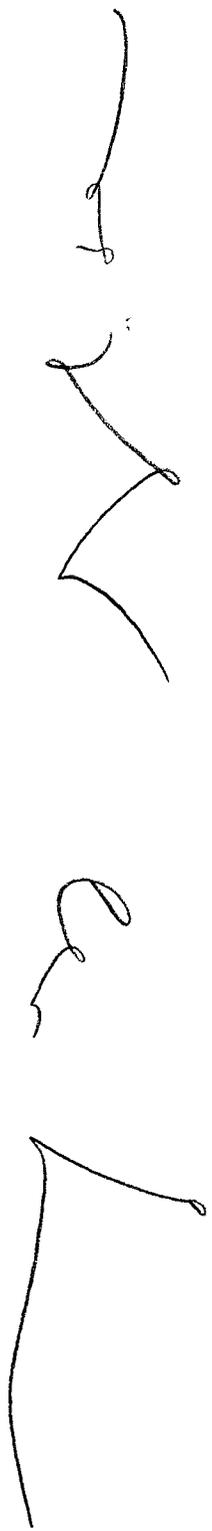
Handwritten cursive letters: a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z.



Handwritten cursive letters: Z, T, U, V, W

Handwritten cursive letters: X, Y, Z, A, B

Handwritten cursive letters: C, D, E, F, G

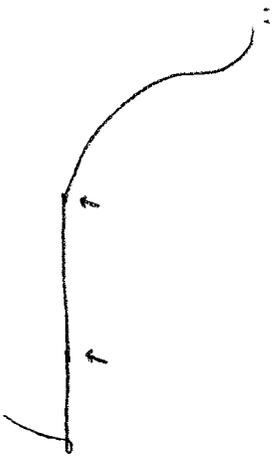
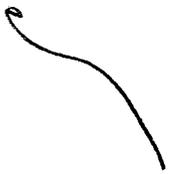
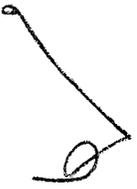
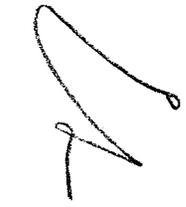
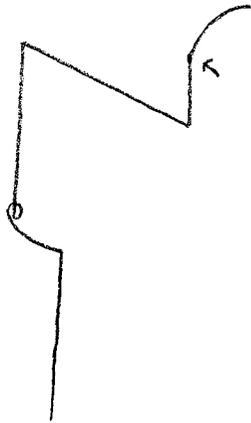
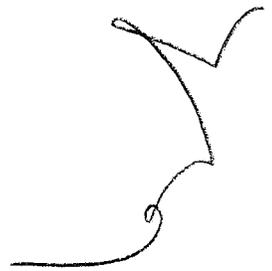
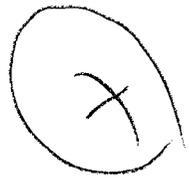




L  
L  
L  
L

e  
e  
e  
e

e  
e  
e  
e



# 練習例題の回答

【清音ア行】

会え	居合い	お会い	愛を	ウイ

【清音カ行】

顔	消え	クコ	請負(ゆづり)	声

赤い	家計	過去	快気	開国

【清音サ行】

さお	式	すし	せき	遅く
愛妻	掲載	規制	改正	素足

【清音タ行】

滝

空いた

近く

机

カツオ

立てた

意図

退屈

提訴

時計

【清音ナ行】

泣く

西

抜け穴

種

のたうつ

内地

体内

静寧(せいねい)

犬

稲作

【清音ハ行】

畑

被災

不得手

へそ

補佐

配置

閉鎖

右派

補正

オフ

【清音マ行】

前



意味合い



向かう



目下



もの



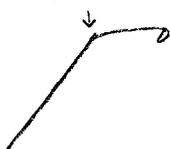
見舞い



名医



富(トミ)



真夏



ノミ



【清音ヤ行】

館(ヤカ)



弓矢



豊か



こよみ



焼いた



さやか



よく



夜道



余生



余地

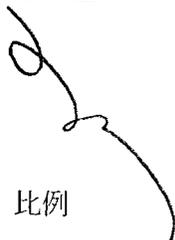


【清音ラ行】

ラフ



るり色



理非(リ)



レトロ



ライト



辛い(からい)



比例



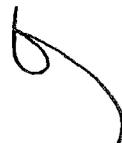
春



夜



ふろ



【清音ワ行】

しわ	庭	かわいい	和歌山	為替(かぜ)

わな	和名	和洋	我ら	悔いる

【清音サ行（変規）】

岸	規則	しかし	軽視	都市

千歳(ちとせ)	ルクス	卑しい	まさに	予測

【清音タ行（変規）】

歌	二十(はつ)	して	そで	…わけで

快適	解説	くどい	人	ほど

【撥音】

多端

回診

噴火

資産

村落

香港

難民

否認

認識

ワンマン

【詰音】

設定

徹底

必死

割って

国会

乗かった

早速

復権

ふっと

はっ

【濁音・長音・長濁音】

永田

(中田)

政党

(制度)

どうでも

(とても)

イースト

エース

地位



楽しい



聞いて



ネーム

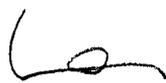


ベーシック

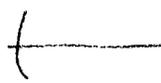


【拗音カ行】

客間



逆行



ギャル



窮屈



究明



学級



教師



仏教



漁船



【拗音サ行】

会社



王者



社員



主要



住民



操縦



オブジェ



ジェットロ



商社



図書



【拗音タ行】

茶器



着信



チャンス



中級



駐車



殺虫剤

チェロ

チェンジ

貯蓄

社長



【拗音ナ行】

にゃお

ぐにゃっと

入院

牛乳

入門



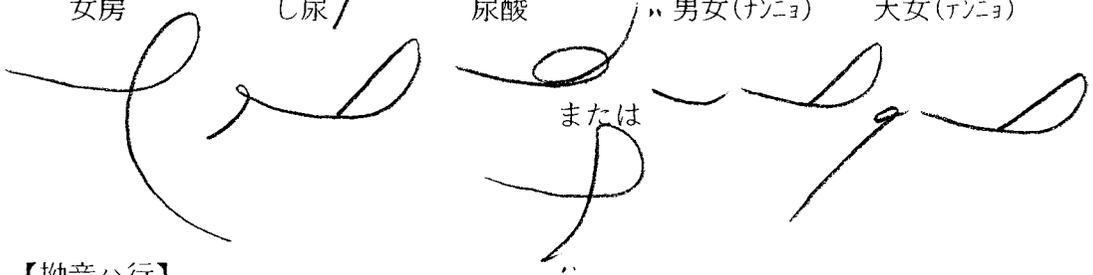
女房

し尿

尿酸

男女(ナンニョ)

天女(テンニョ)



【拗音ハ行】

百聞

百害

白夜(ビヤク)

誤謬(ゴモウ)

ヒューマン



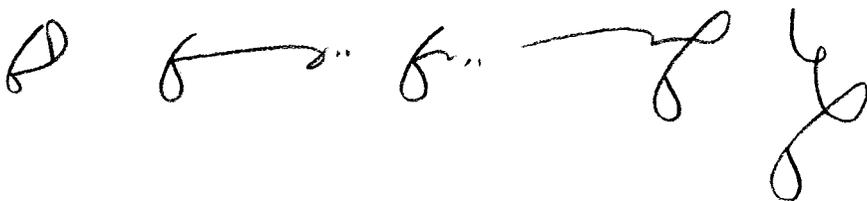
ヒューズ

表面

病院

目標

皮膚病



【拗音マ行】

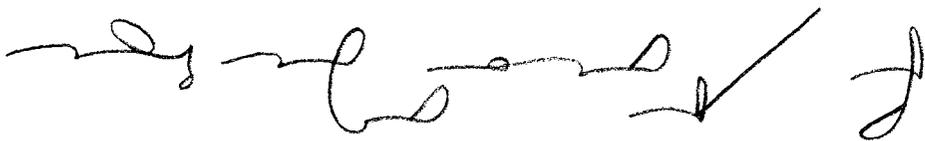
脈圧

脈拍

気脈

ミュート

ミューズ



明日(ミョウニチ) 寿命 明神(ミョウジン) 巧妙(コウミョウ) 妙手(ミョウシュ)



【拗音ラ行】

簡略 前略 略式 流動 留年



バリュウ 流血 不明瞭 終了 旅客(リョカク)



【半濁音】

活版(カッパン) ぱっと 脱皮 切符 アップ

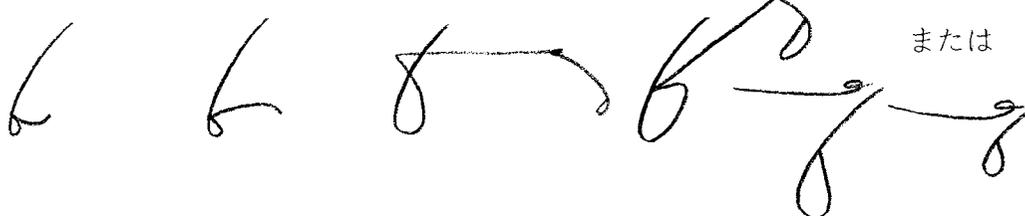


ペガサス 簡保(カンボ) パイン 乾杯(カンパイ) 偏平(ヘンパイ)



【半濁拗音】

ピュア ピューマ ぴょっこり ピョートル 年表



【重音】

母親

くぐる

全然

だんだんと

くれぐれも

収拾策(シュウシュウサク)

ちらちらと

使っても使っても

本当に本当だって

速記を習えば速記を習うほど

【数詞】

765

4,982万 2人

5割

90パーセント

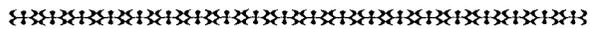
500円玉

7兆円

一生懸命

一石二鳥(イツセキニチョウ)

9億8,765万4,321円



覚えよう！ みんなの

# 早稲田式速記

《 基 本 編 》

発行日 平成15年3月1日

